

2026年12月期 第1四半期

決算説明資料

2026年5月



東京証券取引所

＜証券コード：8508＞

免責事項および注意事項

- ◆ 本資料に記載された将来情報等は資料作成時点での当社の認識、意見、判断または予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社または子会社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって、生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ セグメント収益は、セグメント間の内部営業収益または振替高を含んだ営業収益を表示しています。
- ◆ 損益計算書の項目においては、億円未満を切り捨てた数値の差額を、億円単位で表示しています。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益を当期純利益と表示しています。
- ◆ 2025年12月期 第2四半期連結会計期間において、J Trust Credit NBFiを、2025年12月期第4四半期連結会計期間において、TA資産管理貸付株式会社を非継続事業に分類しております。そのため、2025年12月期第1四半期の「営業収益」「営業利益」「税引前利益」については、組替えて表示しております。

2026年12月期 第1四半期 連結決算サマリー

営業利益は、第1四半期の計画に対して約2倍の34億円で着地

日本金融事業が連結業績を牽引

JTG証券をフックに富裕層ビジネス拡大の基盤づくりが進む



01 | 2026年12月期 第1四半期 連結決算概要

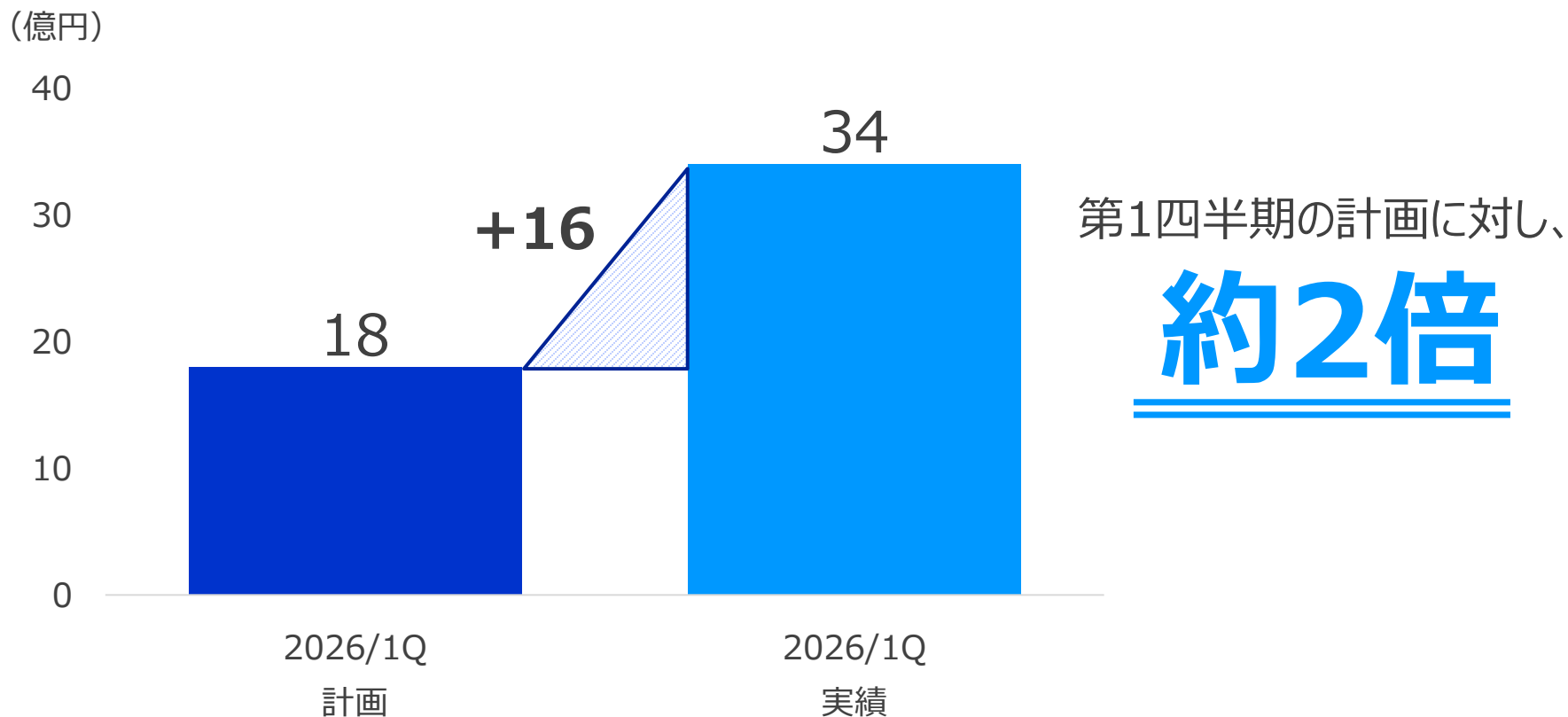
02 | 2026年12月期 第1四半期 セグメント別業績と取り組み

03 | 2026年12月期 株価・株主還元およびIR活動について

連結営業利益の第1四半期の計画比

➤ 第1四半期の計画に対して、約2倍の34億円で着地

連結営業利益



セグメント別営業利益の第1四半期の計画比

- 第1四半期の計画に対して、日本金融事業が4億円、韓国金融事業は3億円上回って着地

	2026/1Q 《計画》営業利益	2026/1Q 《実績》営業利益	計画比
日本金融事業	22億円	26億円	+4億円
韓国金融事業	5億円	8億円	+3億円
東南アジア 金融事業	-9億円	4億円	+13億円
不動産事業	2億円	3億円	+1億円
投資事業	2億円	-0億円	-2億円
連結	18億円	34億円	+16億円

通期計画に対する進捗率

- 営業収益は、ほぼ計画通りに進捗
- 当期純利益は、通期計画に対して進捗率約41%

	2026/12 通期計画	2026/1Q	
		実績	通期計画に 対する進捗率
営業収益	1,300億円	310億円	23.8%
営業利益	116億円	34億円	29.3%
税引前利益	117億円	37億円	31.6%
当期純利益	81億円	33億円	40.7%

前年同期比

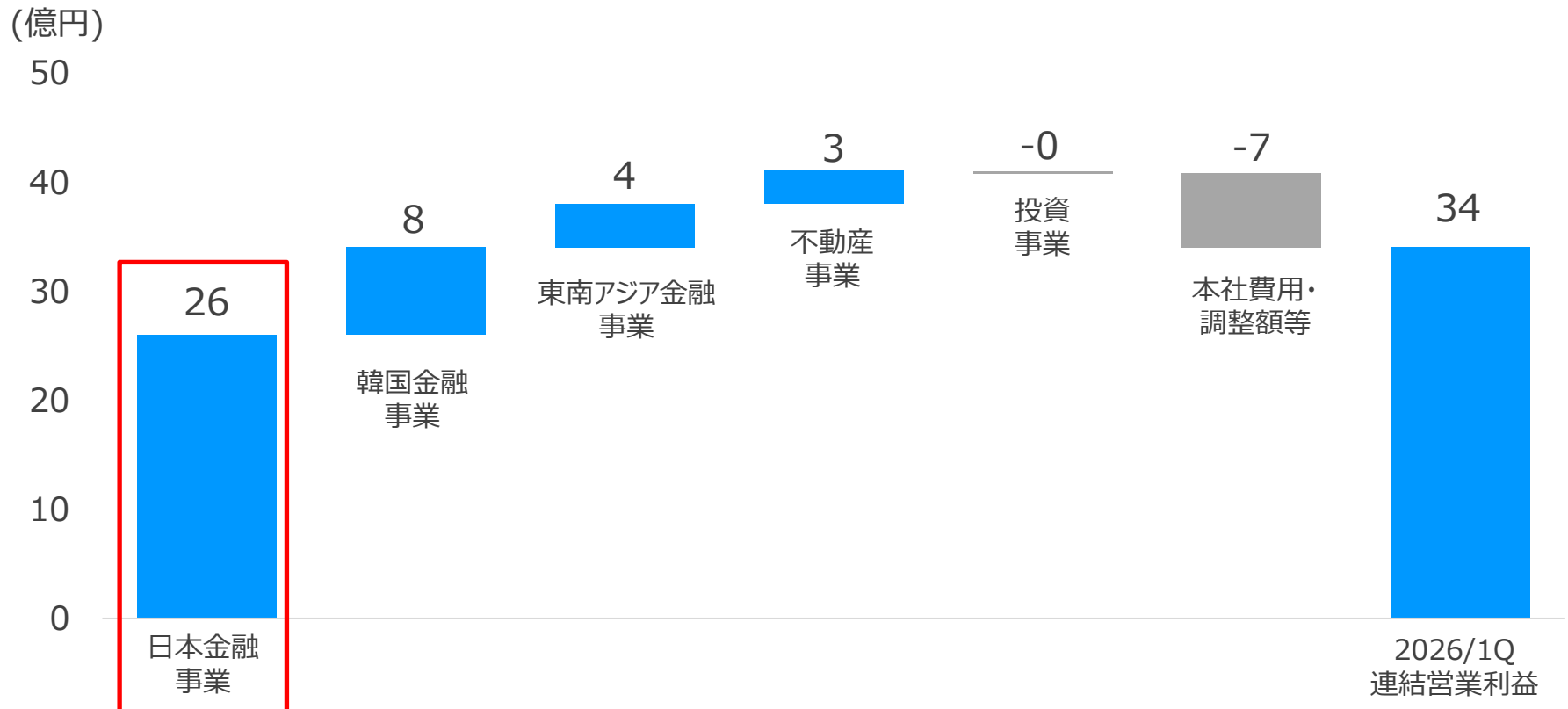
➤ 前年同期比で増収増益となり、着実に事業成長が進む

	2025/1Q	2026/1Q	前年同期比
営業収益	304億円	310億円	+6億円
営業利益	20億円	34億円	+14億円
税引前利益	15億円	37億円	+22億円
当期純利益	4億円	33億円	+29億円

第1四半期の営業利益の事業セグメント別構成

➤ 日本金融事業が大きく貢献し、連結業績を牽引

営業利益

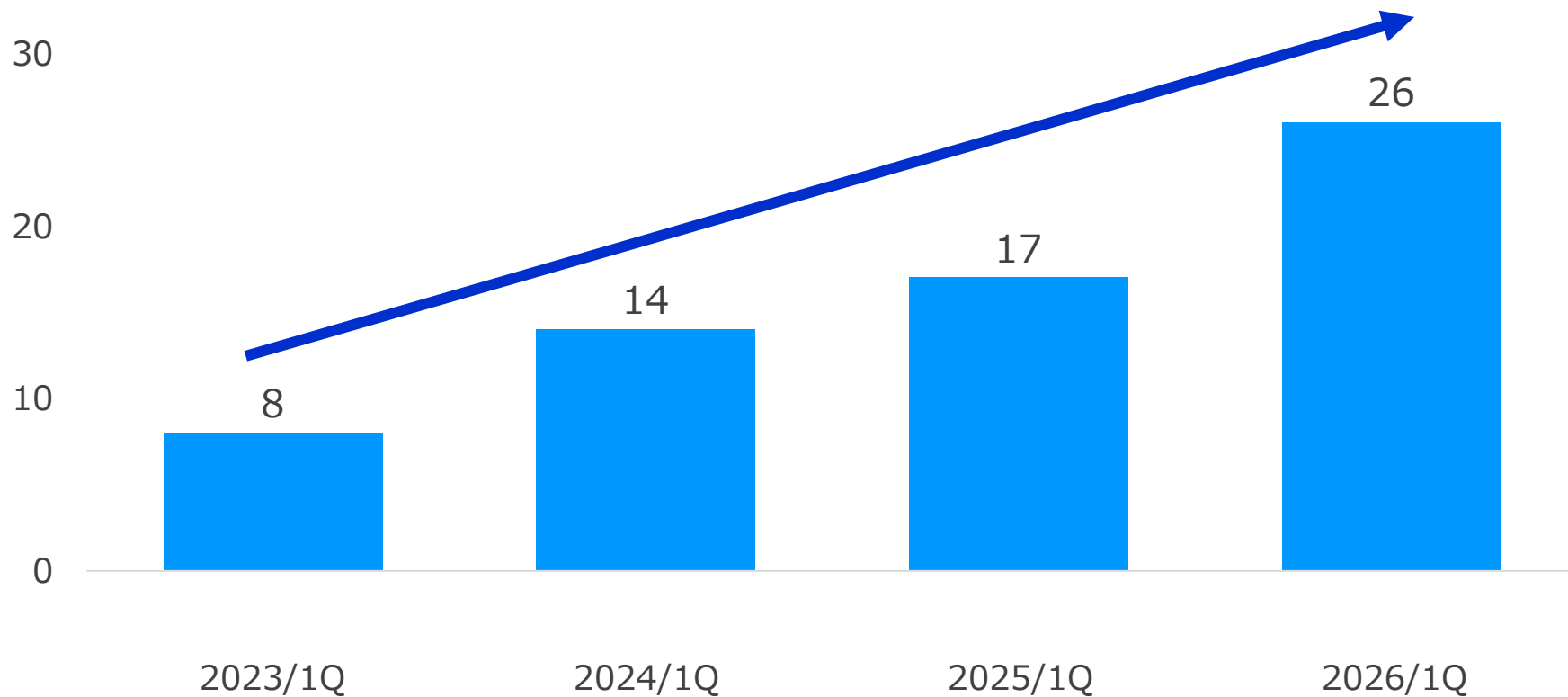


日本金融事業の直近4期分の第1四半期の営業利益の推移

➤ 日本金融事業は増益基調が続く

営業利益

(億円)

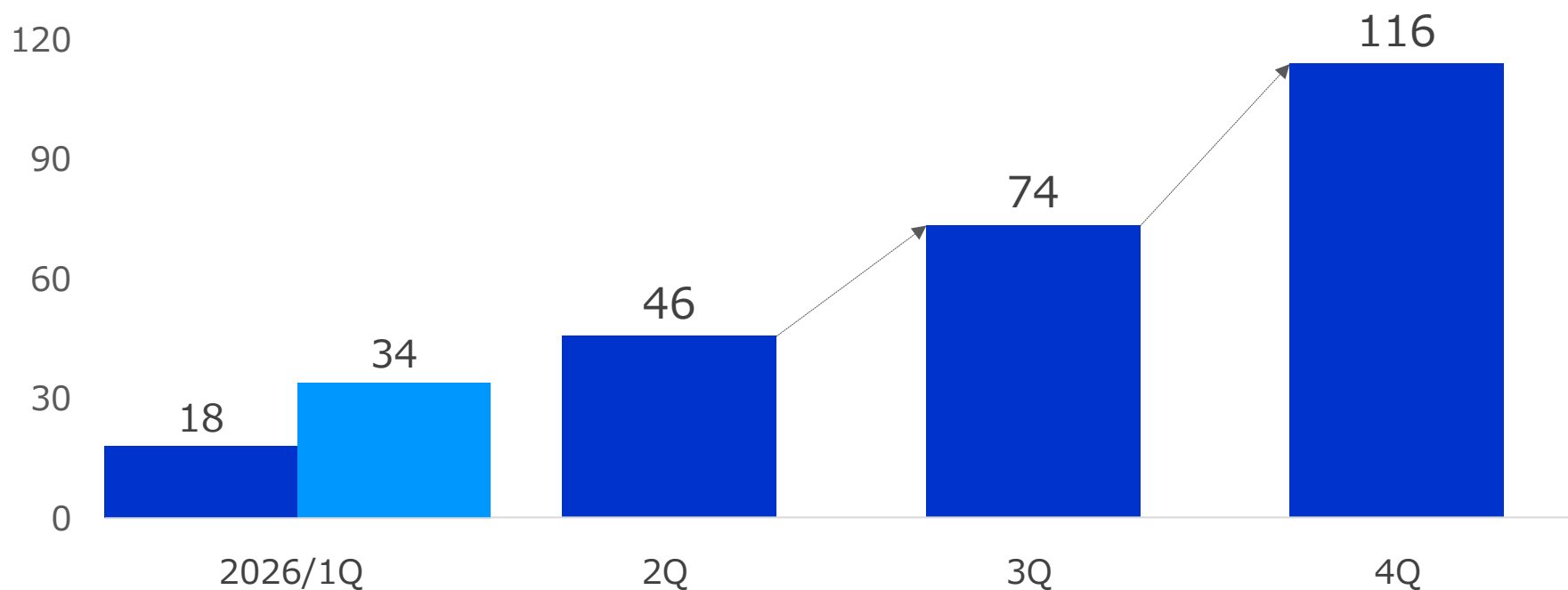


連結営業利益の四半期毎の計画と実績

- 連結営業利益は、アセットビジネスが主体であり、収益が下期に偏る特性から、下期に向けて増益基調での推移を計画

連結営業利益（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績





01 | 2026年12月期 第1四半期 連結決算概要

02 | 2026年12月期 第1四半期 セグメント別業績と取り組み

03 | 2026年12月期 株価・株主還元およびIR活動について



日本金融事業

Financial Business in Japan



日本保証

PARTIR
パルティール債権回収株式会社



Nexus Card

 MIRAI



JTG証券

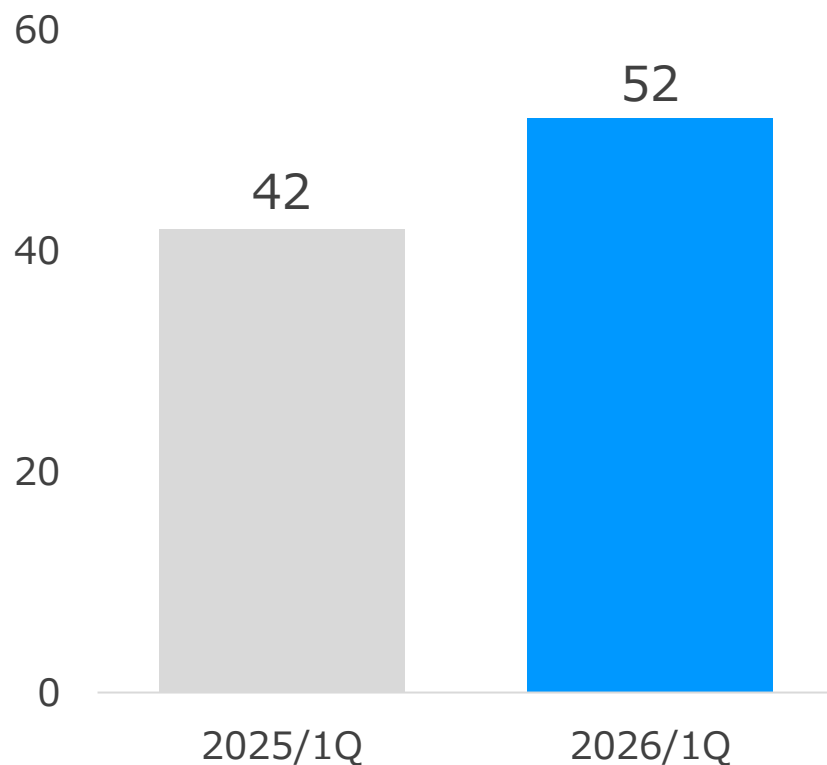
Jトラスト グローバル証券

日本金融事業 営業収益と営業利益の前年同期比

- 債権回収業務における簿価修正益の増加や、クレジット・信販業務における割賦立替手数料の増加、証券業務における金融業務受取手数料の増加等により、増収増益

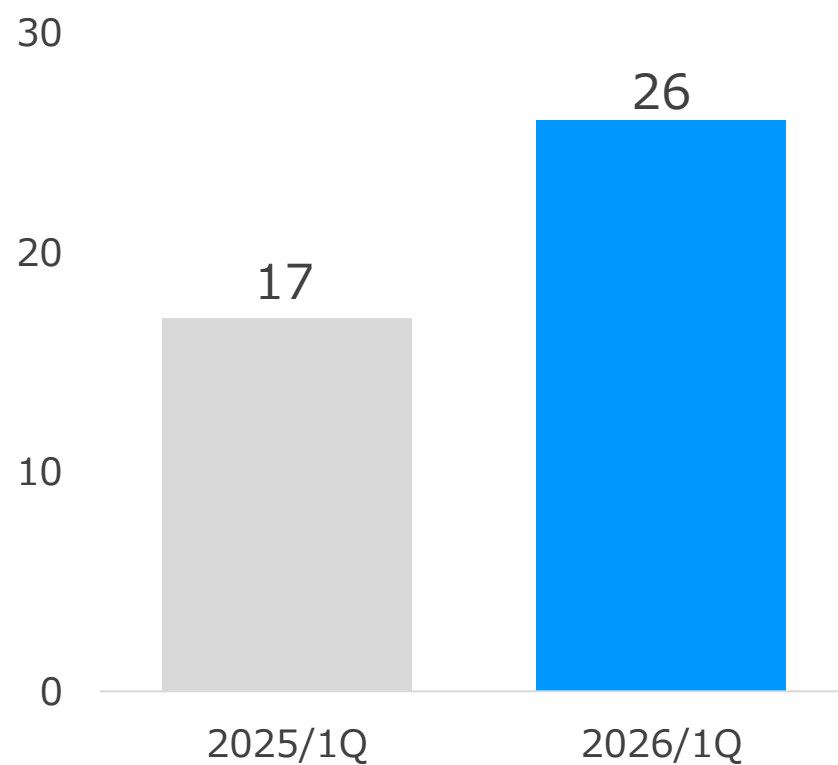
営業収益

(億円)



営業利益

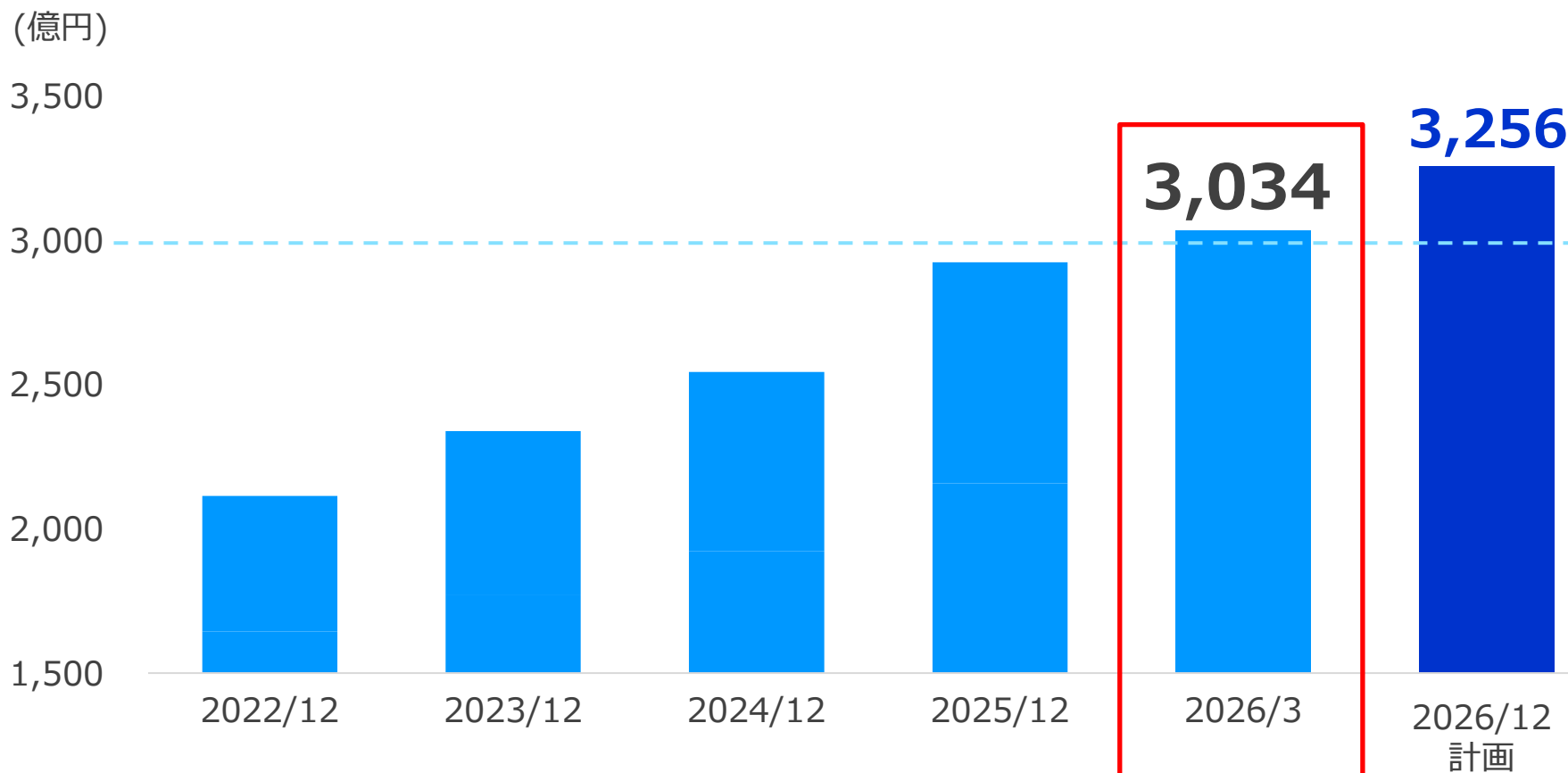
(億円)





- 債務保証残高は順調に積み上がり3,000億円に到達、期末の計画達成に向けて堅調に推移

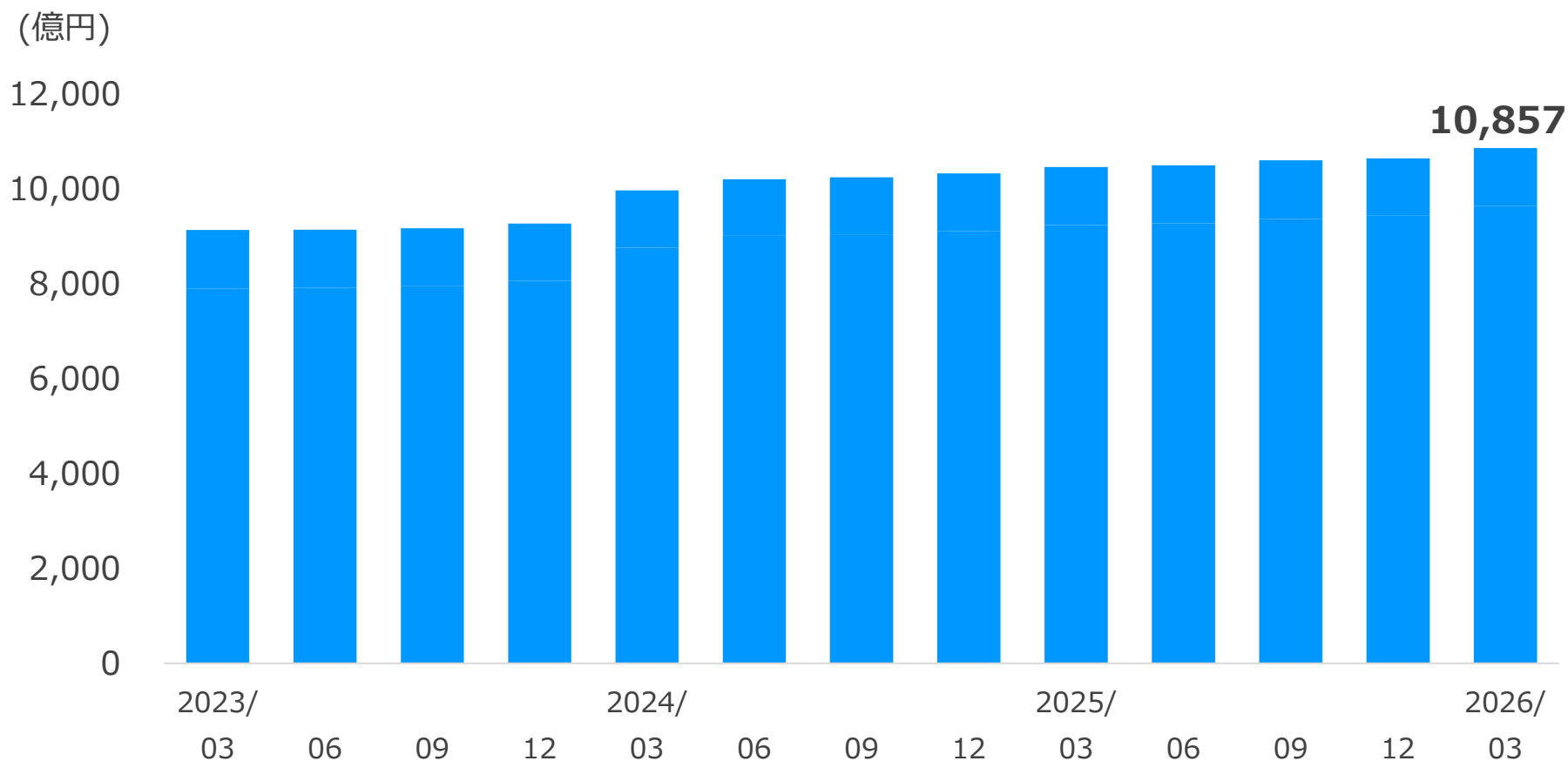
債務保証残高



請求債権残高の推移

- 順調に債権回収が進む中、債権購入も着実に進み、請求債権残高は微増
通期では前年度を上回る債権購入を計画しており、営業利益の拡大を見込む

請求債権残高



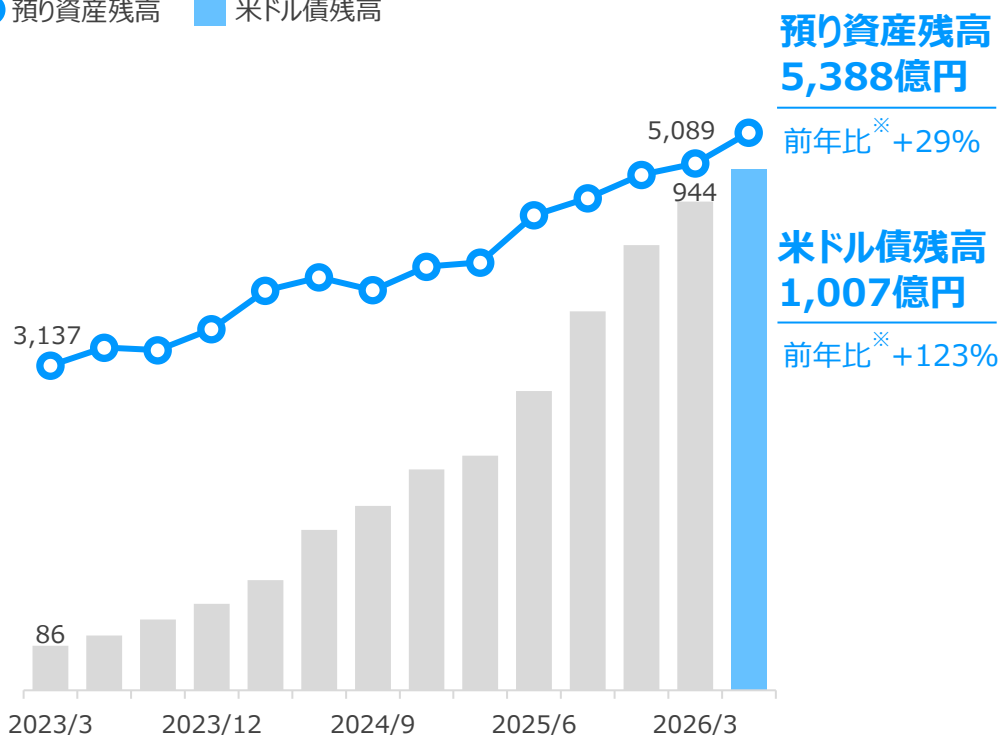


- 株式売買収益に依存しないストック型収益モデルへのビジネストランスフォーメーションが進展
- 富裕層ビジネスを推進し、2026年4月末時点で、米ドル建て債券が1,000億円突破
預り資産残高も5,388億円と順調に成長

預り資産残高／米ドル債残高（億円）

○ 預り資産残高

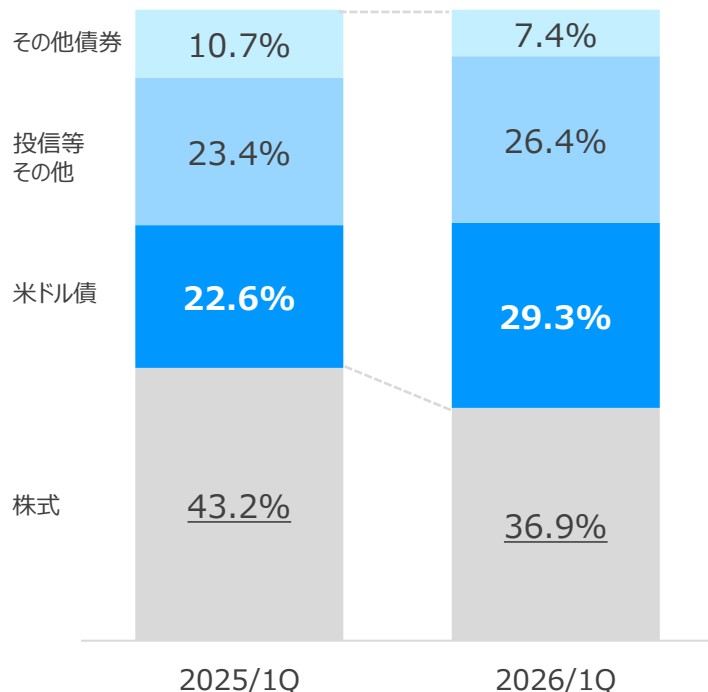
■ 米ドル債残高



※前年比：2025年4月30日 と 2026年4月30日の比較

収益構成比

収益構成比：株式関連▲6.3Pt.（前年同期比）



- 国内初、債券を担保にして“ダブルインカム(金利)を実現する”新発想のFXサービス
「WEALTH FX」を6月22日サービス開始予定
⇒口座開設の事前申し込みは6月1日から開始予定

本物の資産家のために、FXを『再定義』

WEALTH FX

for Yield Enhancement

WEALTH FXの特徴

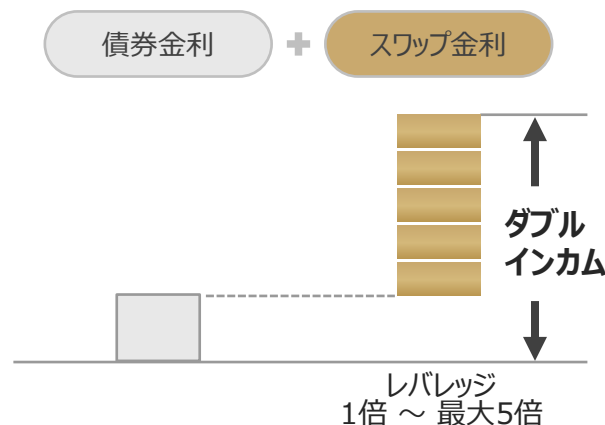
1. 国内外債券を代用有価証券として担保とすることが可能
2. 債券金利も受け取りながら、ドル円FXスワップ金利^{※1}も同時に享受^{※2}
3. レバレッジは最大5倍^{※3}で、従来の短期トレーディング型のFXではなく、中長期アセットマネジメント型のFX

※1 スワップ金利はスワップポイントを指します

※2 米ドル/円の買いポジションの場合に、金利を受取ることが出来ます

※3 個人の場合

ダブルインカムの実現イメージ

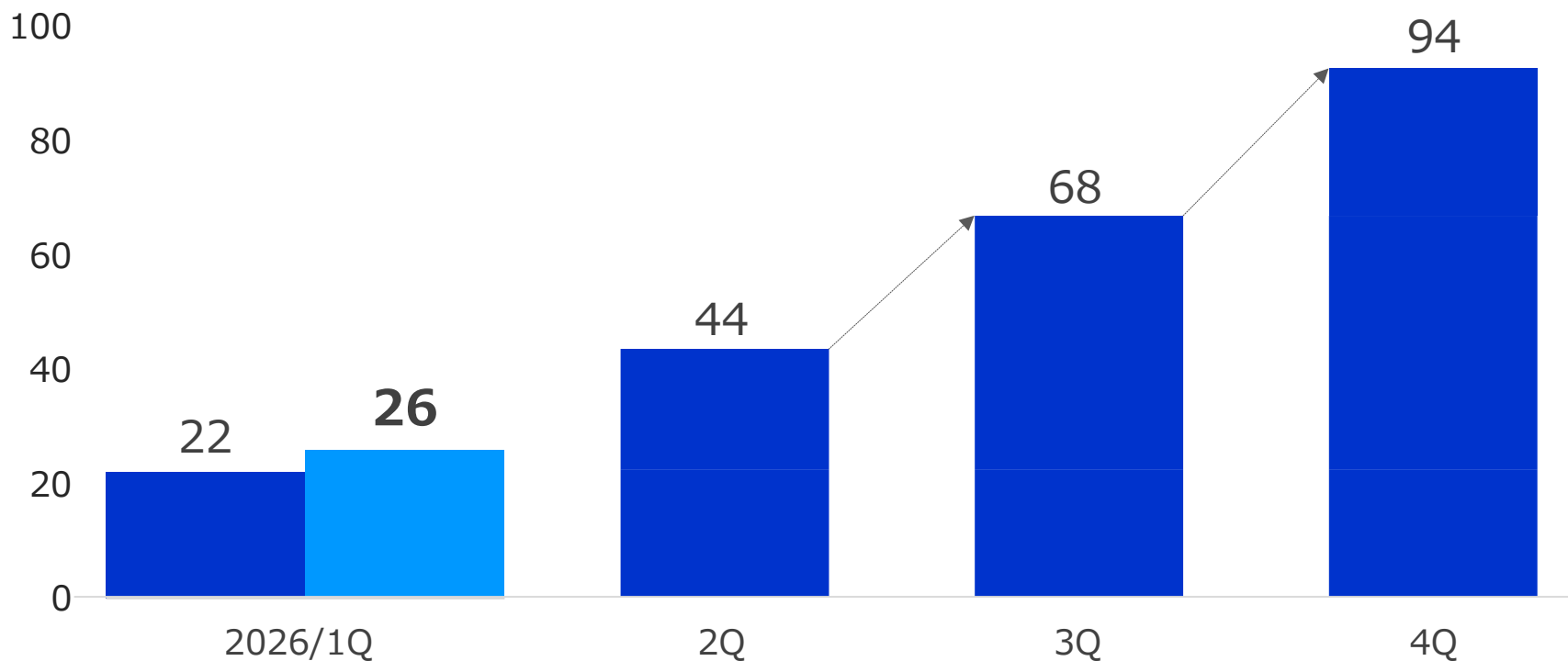


日本金融事業 四半期毎の営業利益計画と実績

- 営業利益は、第1四半期の計画比+4億円の26億円で着地
- 通期計画は、下期に向けて積み上げていく計画

営業利益（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績





韓国金融事業

Financial Business in South Korea

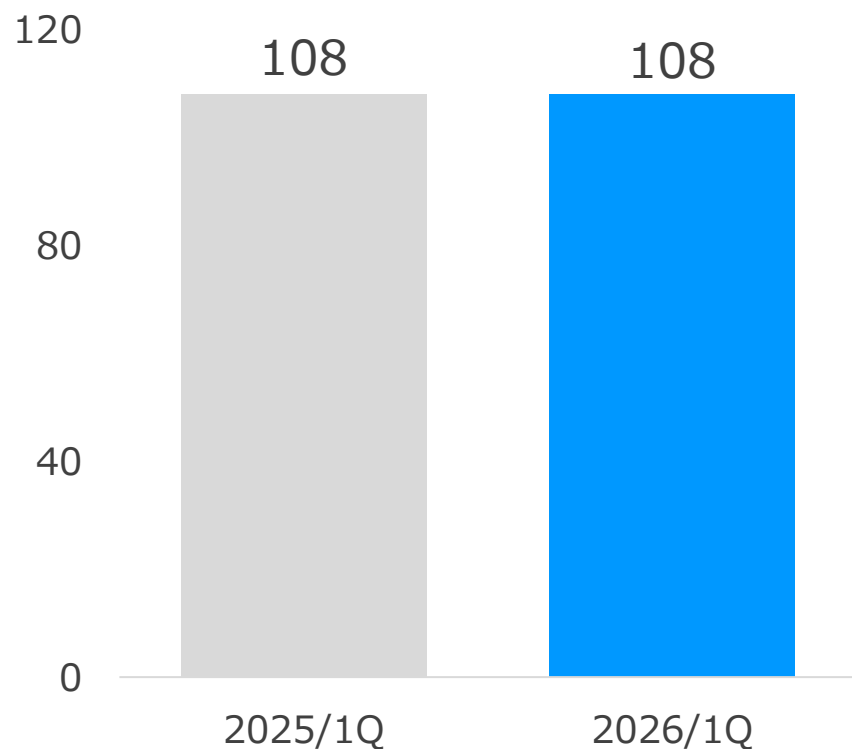
 JT 親愛貯蓄銀行  JT 貯蓄銀行

韓国金融事業 営業収益と営業利益の前年同期比

- 営業利益は、貸倒関連費用の減少や調達金利の低下に伴う、預金利息費用の減少等により、黒字転換

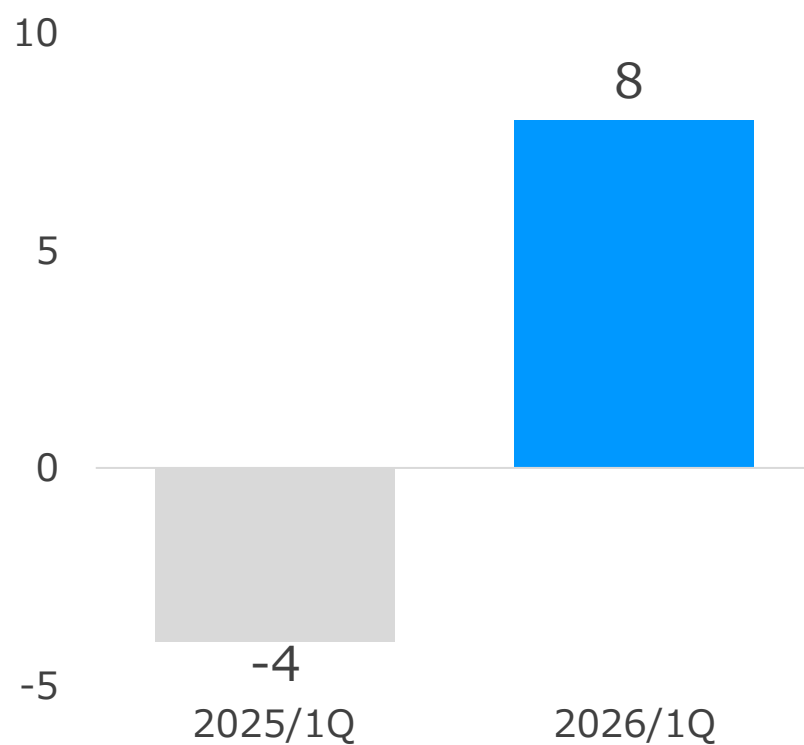
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)

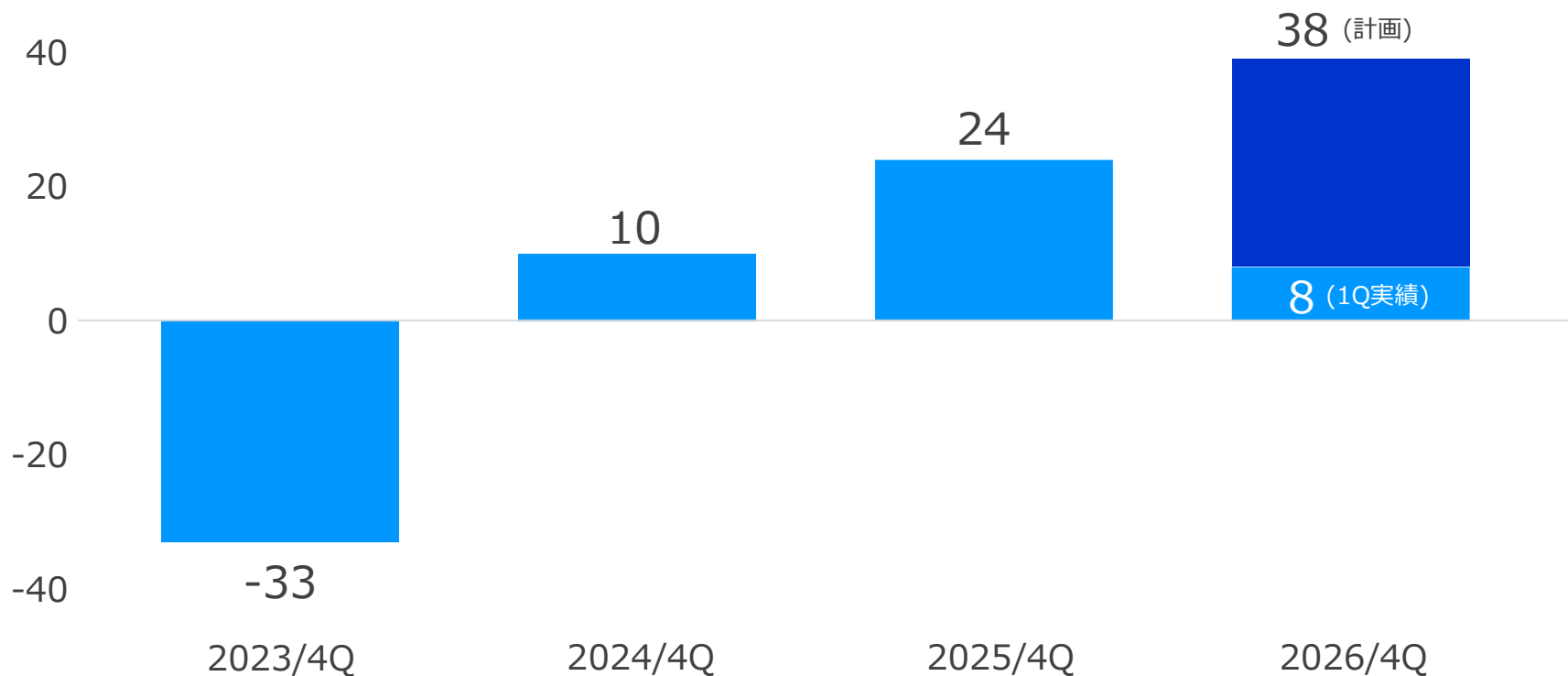


韓国金融事業 直近3年間の営業利益の実績と今期計画

- 営業利益は、2023年に一過性の要因で損失を計上したものの、2024年以降は着実に回復

営業利益（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績

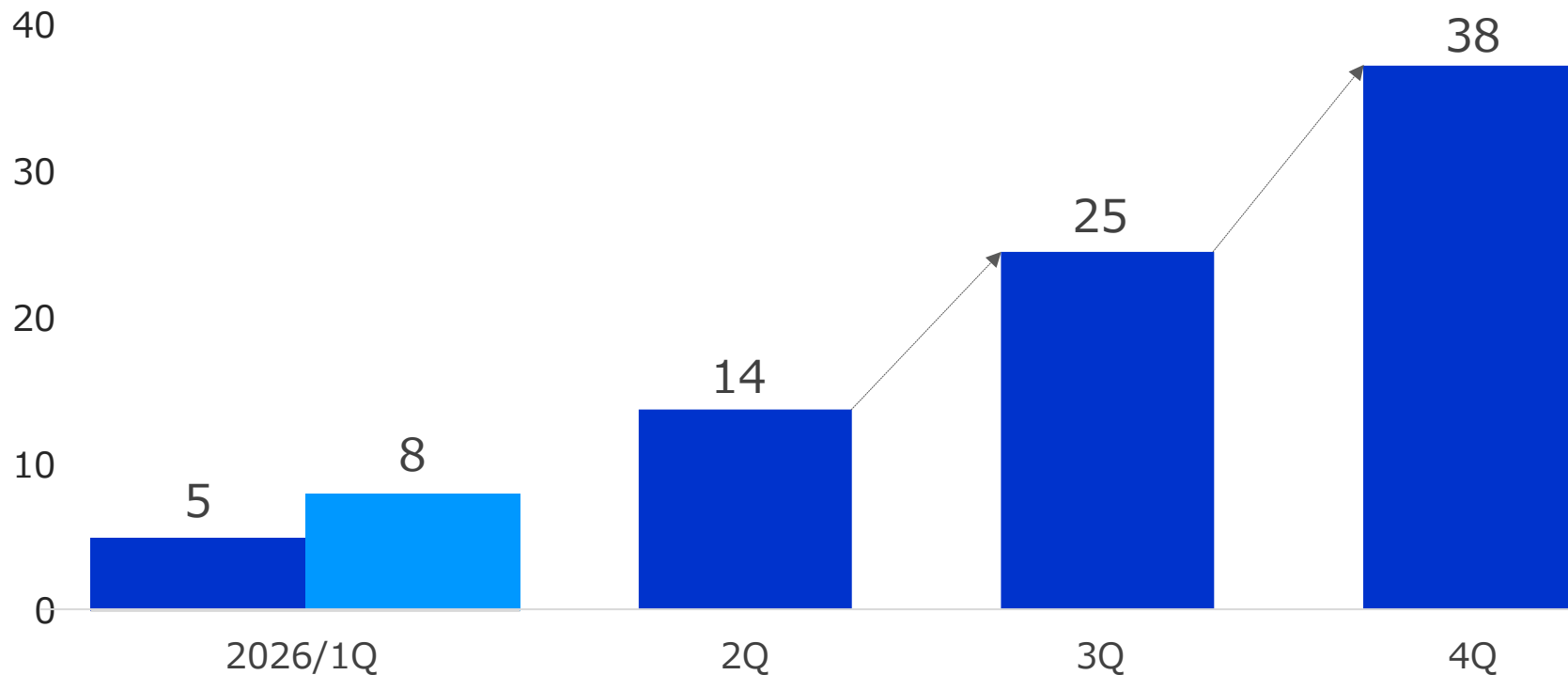


韓国金融事業 四半期毎の営業利益計画と実績

- 営業利益は、第1四半期計画比+3億円の8億円で着地
- 通期計画は、下期に向けて積み上げていく計画

営業利益（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績





東南アジア金融事業

Financial Business in Southeast Asia

 **J TRUST BANK**
Jトラスト銀行

 J Trust Royal Bank

 **J TRUST INVESTMENTS**
Indonesia

 **TA Asset**
PT TurnAround Asset Indonesia

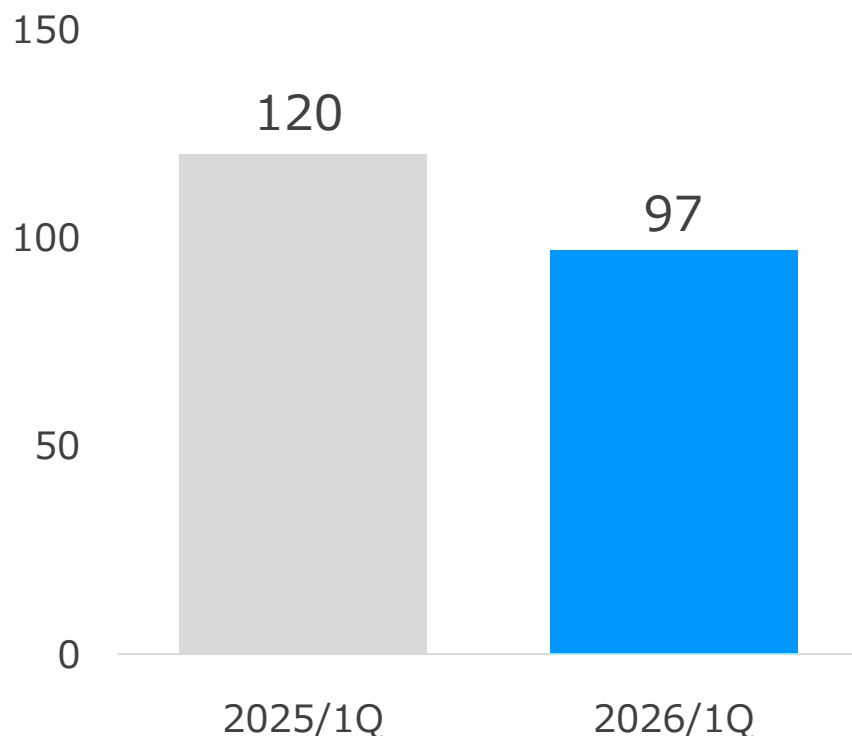
 **J TRUST CONSULTING**
Indonesia

東南アジア金融事業 営業収益と営業利益の前年同期比

➤ 東南アジア金融事業は、銀行業における貸出金利息収益の減少等を受け、減収減益

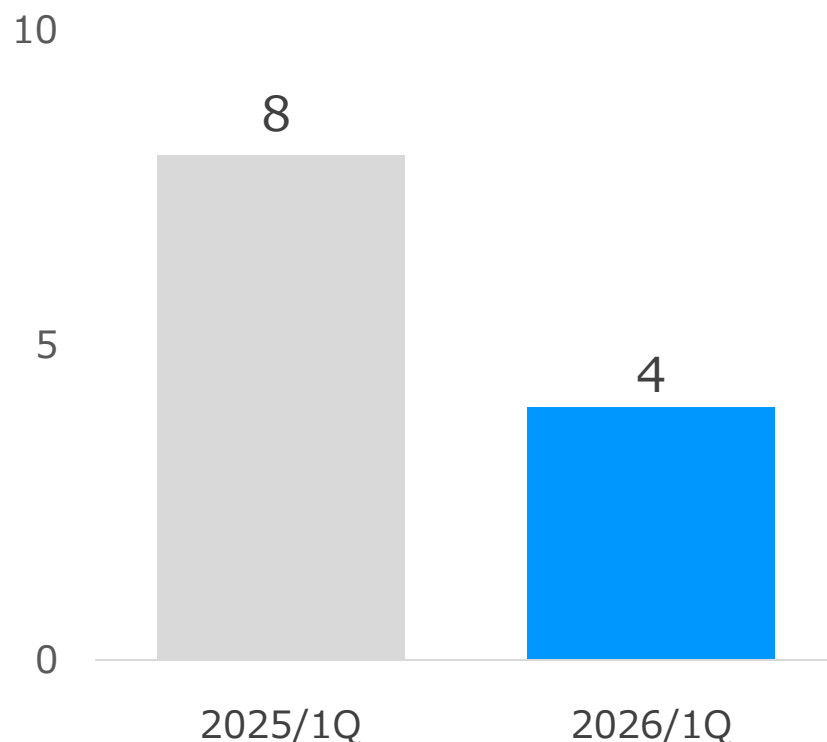
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)



東南アジア金融事業 国別の営業収益と営業利益

- ▶ インドネシアは、銀行・サービサー合算で損失を回避
- ▶ カンボジアの銀行の貢献により、セグメント利益は4億円を計上

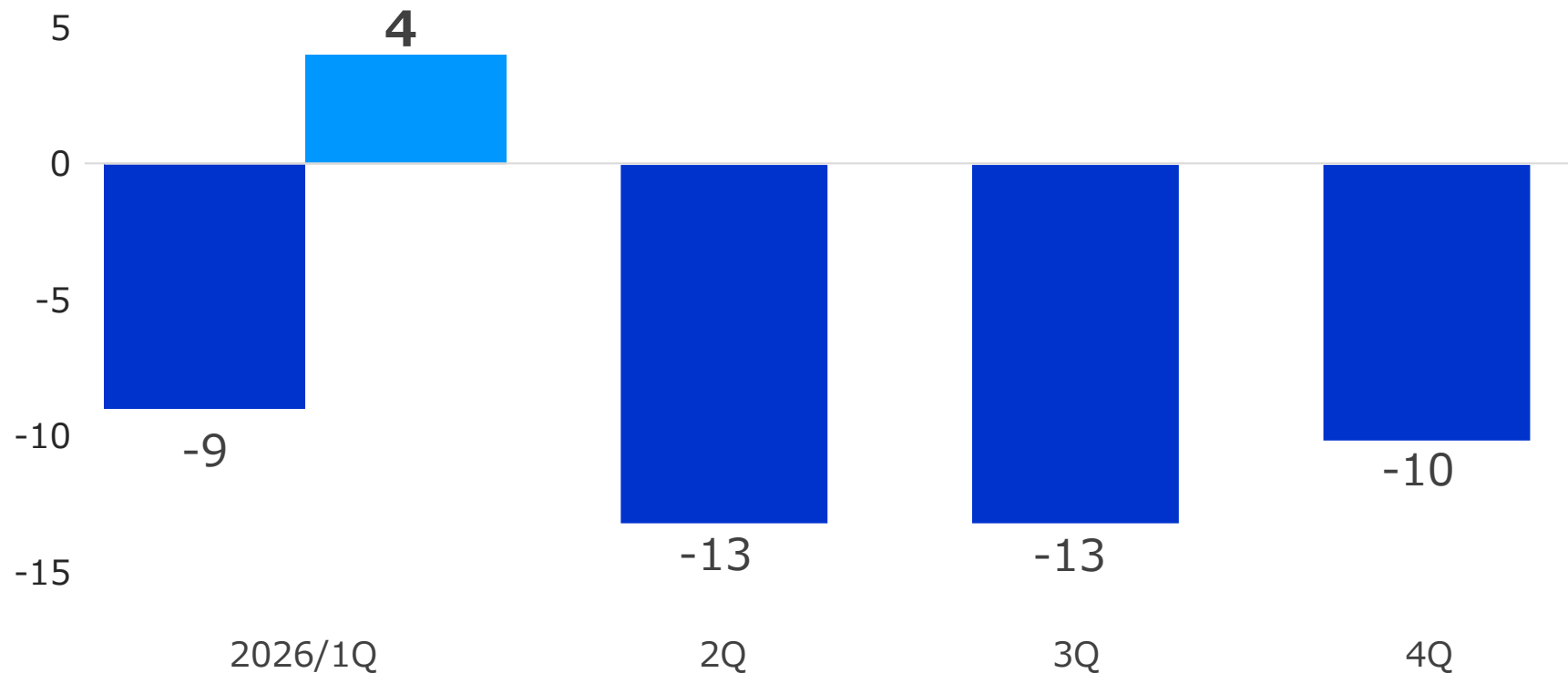
	2026/1Q	
	営業収益	営業利益
インドネシア	62億円	+0億円
カンボジア	35億円	4億円
東南アジア金融事業	97億円	4億円

東南アジア金融事業 四半期毎の営業利益計画と実績

➤ 営業利益は、貸倒関連費用が予算比で低位に推移したこと等により、黒字を計上

営業利益（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績





不動産事業

Real Estate Business

 J-GRAND

 gro-bels

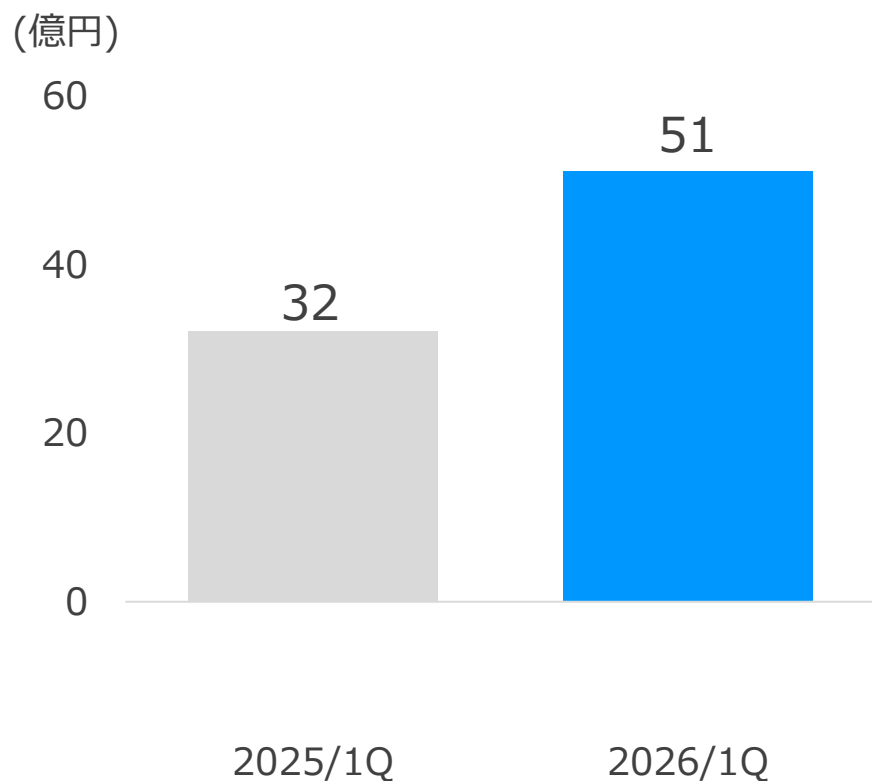
 ライブレント

 グランド保証

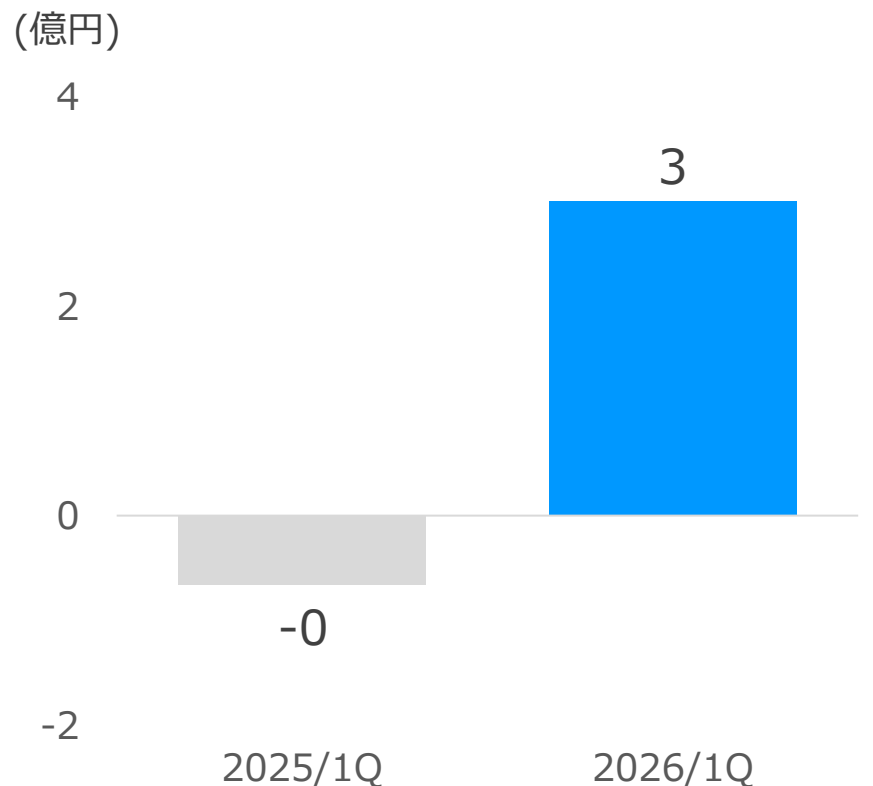
不動産事業 営業収益と営業利益の前年同期比

- 不動産事業は、新築分譲マンションの販売が堅調に推移し、販売用不動産における販売収益が増加したこと等により、増収増益

営業収益

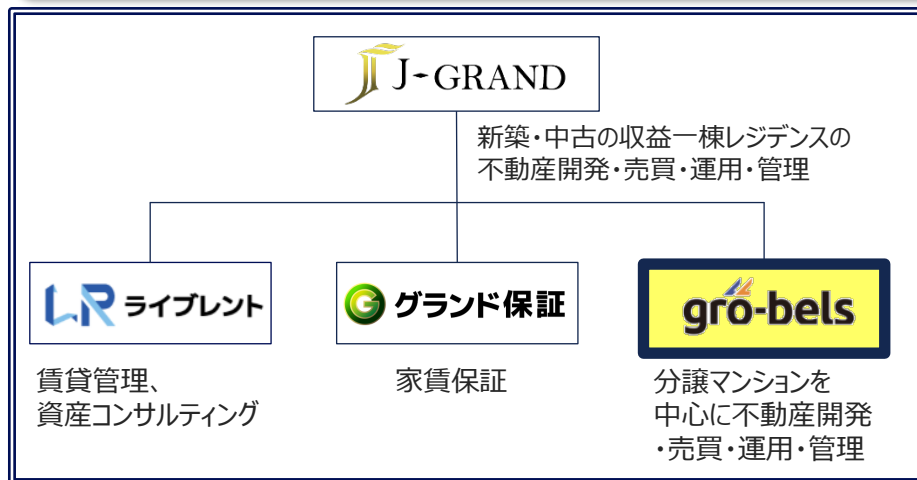


営業利益



不動産事業4社の取り組み

- Jグランドを主軸に、賃貸管理のライブレント、家賃保証のグランド保証、分譲マンション事業のグローバルスを含む4社で、総合不動産事業として更なる飛躍へ



グローバル立川プレミアム
2026年3月26日 竣工



投資事業

Investment Business

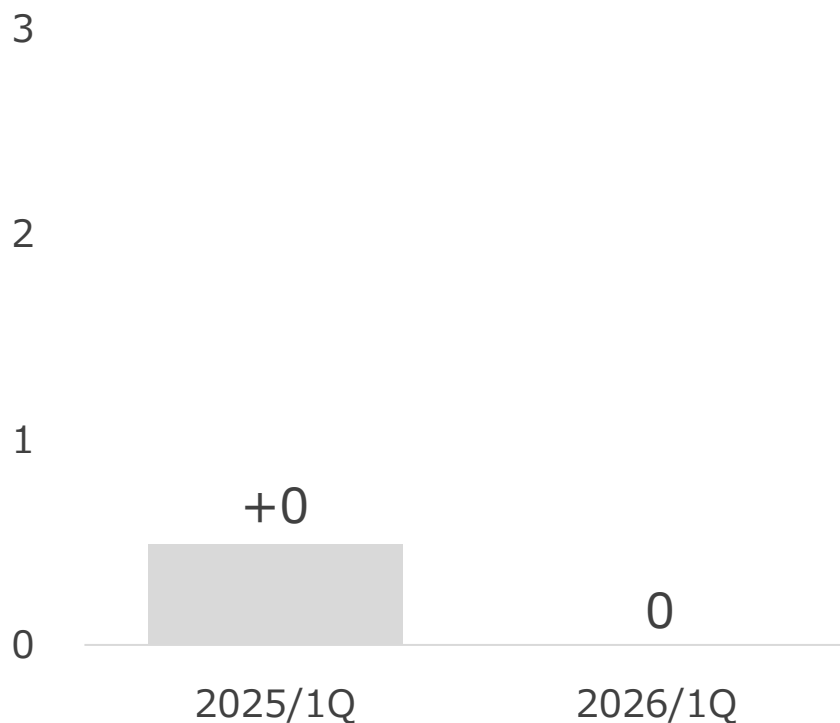


投資事業 営業収益と営業利益の前年同期比

➤ 第1四半期では、これまで行った投資からの収益が約12億円あり、営業利益に計上済

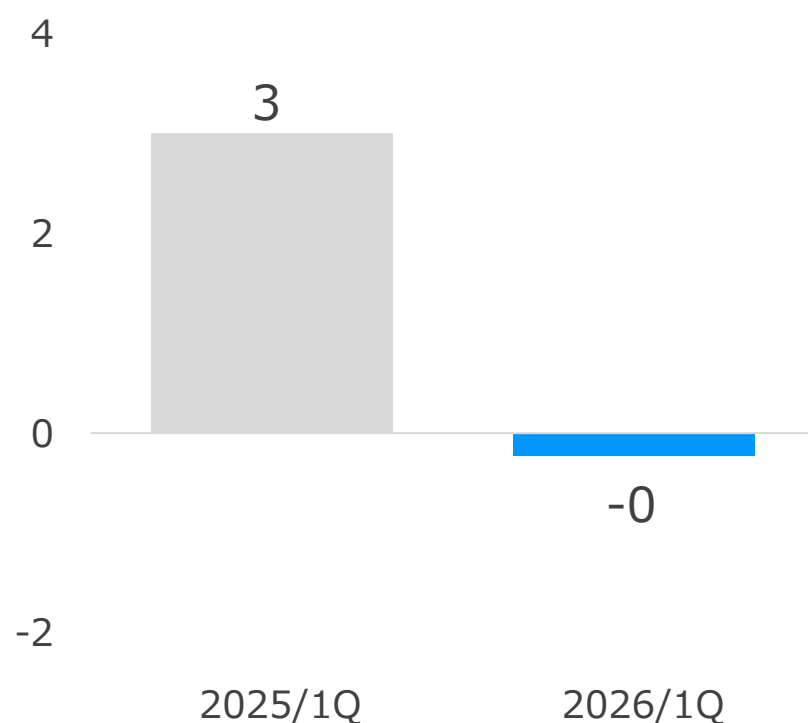
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)





- 01 | 2026年12月期 第1四半期 連結決算概要
- 02 | 2026年12月期 第1四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2026年12月期 株価・株主還元およびIR活動について

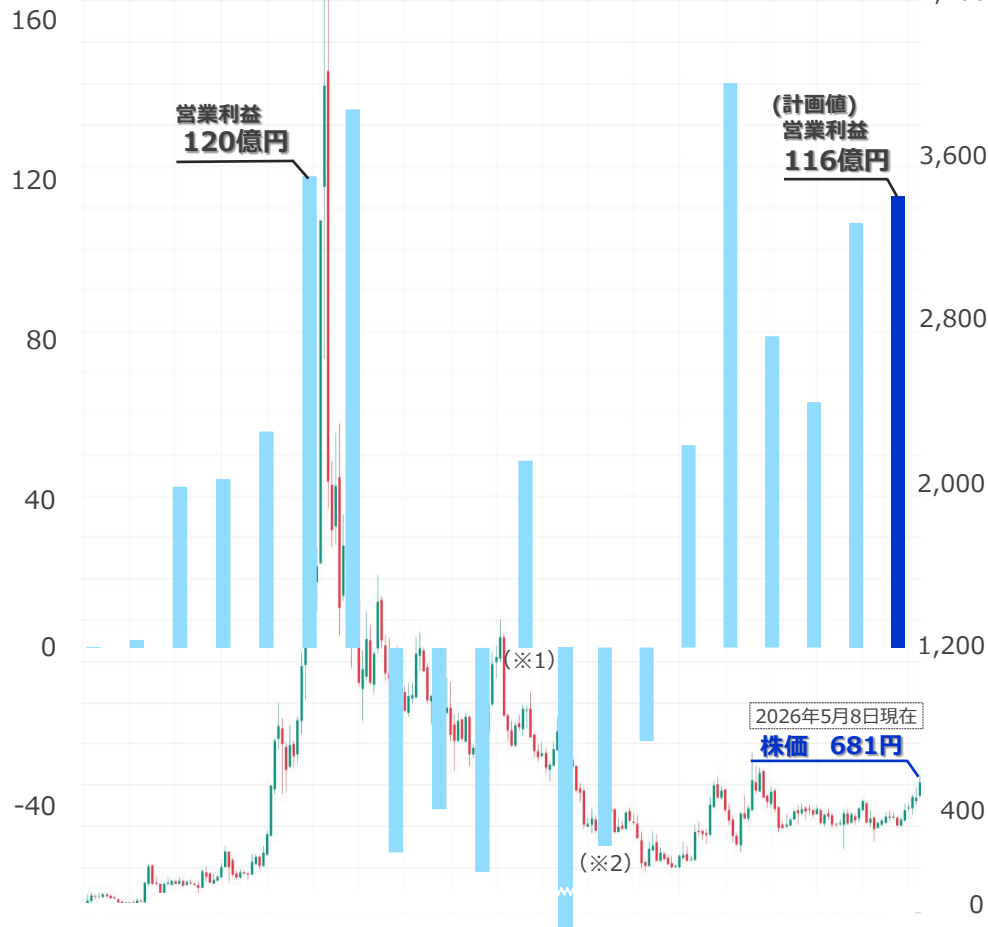
当社の営業利益と株価の相関

[営業利益]
(単位:億円)

2013年5月13日
TOB以降の最高株価
4,560円(※3)

■ 営業利益(実績)
■ 株価

[株価]
(単位:円)



営業利益

(実績値)
2013年3月期

120億円

ギャップ 4億円

(計画値)
2026年12月期

116億円

【株価】

2013年5月13日 (※3)
4,560円
TOB以降の最高株価

ギャップ **3,879円**

2026年5月8日現在

681円

2026年12月期
通期決算後

???円

2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026

(※1) 2018年3月期以降はIFRS
(※2) 決算期を3月から12月に変更
(※3) 株式分割調整前の株価

当社のIR活動について

➤ 第1四半期以降も、日本のみならず海外でのIR活動を継続

日程		場所
実施済	2026年3月上旬	シンガポール
実施予定	2026年6月上旬	香港
	2026年6月上旬	シンガポール

2026年12月期 6月末 株主優待について

(宝塚歌劇 貸切公演のご招待)

- 株主優待にて実施予定の、東京宝塚劇場貸切公演の演目ならびに開催日程が決定
⇒東京宝塚劇場のほか、宝塚大劇場(兵庫県宝塚市)でも開催を検討しており、
2公演あわせてペア・シングル約2,200組(約4,400席)のご招待を予定しております。
- 2026年6月末時点で、500株以上保有の株主に応募申込書を送付予定
さらに、2万株以上保有の株主にはペアチケット、1万株以上2万株未満保有の株主には1枚、
抽選によらず、応募者に対して[座席グレード「S席」以上]の観劇チケットを贈呈いたします
- 応募申込書の発送は8月上旬頃の予定

Jトラスト 宝塚歌劇 星組

貸切公演 ご招待

宝塚歌劇 星組公演 東京宝塚劇場
2026年11月28日(土) 15:30開演

『RRR×TAKA“R”AZUKA ~√Rama~
(アールアールアール バイ タカラヅカ 〜ルートラマ〜)』
Based on SS Rajamouli's 'RRR'.

脚本・演出／谷 貴矢



星組トップスター 暁 千星
星組トップ娘役 詩 ちづる

©宝塚歌劇 ※写真は公演内容とは異なります

応募者への贈呈内容 (東京宝塚劇場 貸切公演)

- 1) 2万株以上保有
ペアチケットを贈呈 [座席グレード「S席」以上]
- 2) 1万株以上2万株未満保有
チケット1枚を贈呈 [座席グレード「S席」以上]
(ただし、3)のペアチケット抽選を代わりに選択することも可)
- 3) 500株以上1万株未満保有
抽選に当選された方にペアチケットを贈呈 [S席/A席/B席]

※上記「抽選応募のルール」を含め、貸切公演開催に関する検討事項については今後変更となる場合がございます。

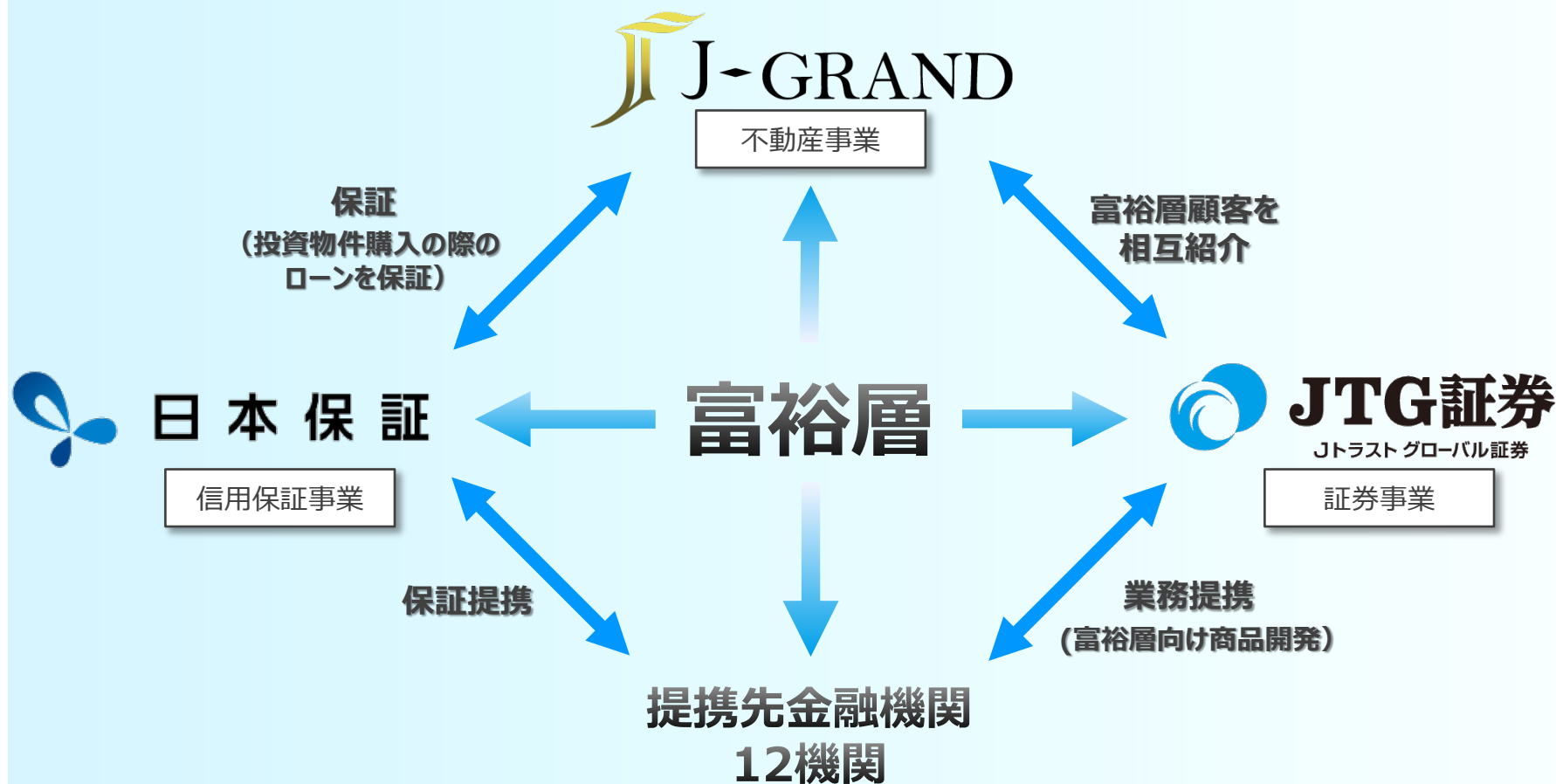
※応募券、宝塚歌劇公演チケットの転売、換金、有償譲渡やオークション等への出品は固く禁止します。万が一、過去に実施した宝塚歌劇貸切公演の株主優待を含め、これらの行為が発覚した場合は、宝塚歌劇公演チケット贈呈および抽選参加の対象外とさせていただきます。応募券、宝塚歌劇公演チケットを無効とするなど、然るべき対応をとらせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

Jトラスト
株主優待の
詳細はこちら!



日本金融事業はクロスセルで富裕層ビジネスを拡大

- 日本保証、Jトラストグローバル証券、Jグランドおよび提携先金融機関とのクロスセルを通じて、富裕層向けビジネスを拡大



Appendix

事業セグメント別営業収益計画比

	2026/1Q 《計画》営業収益	2026/1Q 《実績》営業収益	計画比
日本金融事業	49億円	52億円	+3億円
韓国金融事業	108億円	108億円	-0億円
東南アジア 金融事業	106億円	97億円	-9億円
不動産事業	49億円	51億円	+2億円
投資事業	1億円	0億円	-1億円
連結	315億円	310億円	-5億円

割賦売掛金残高の推移と計画

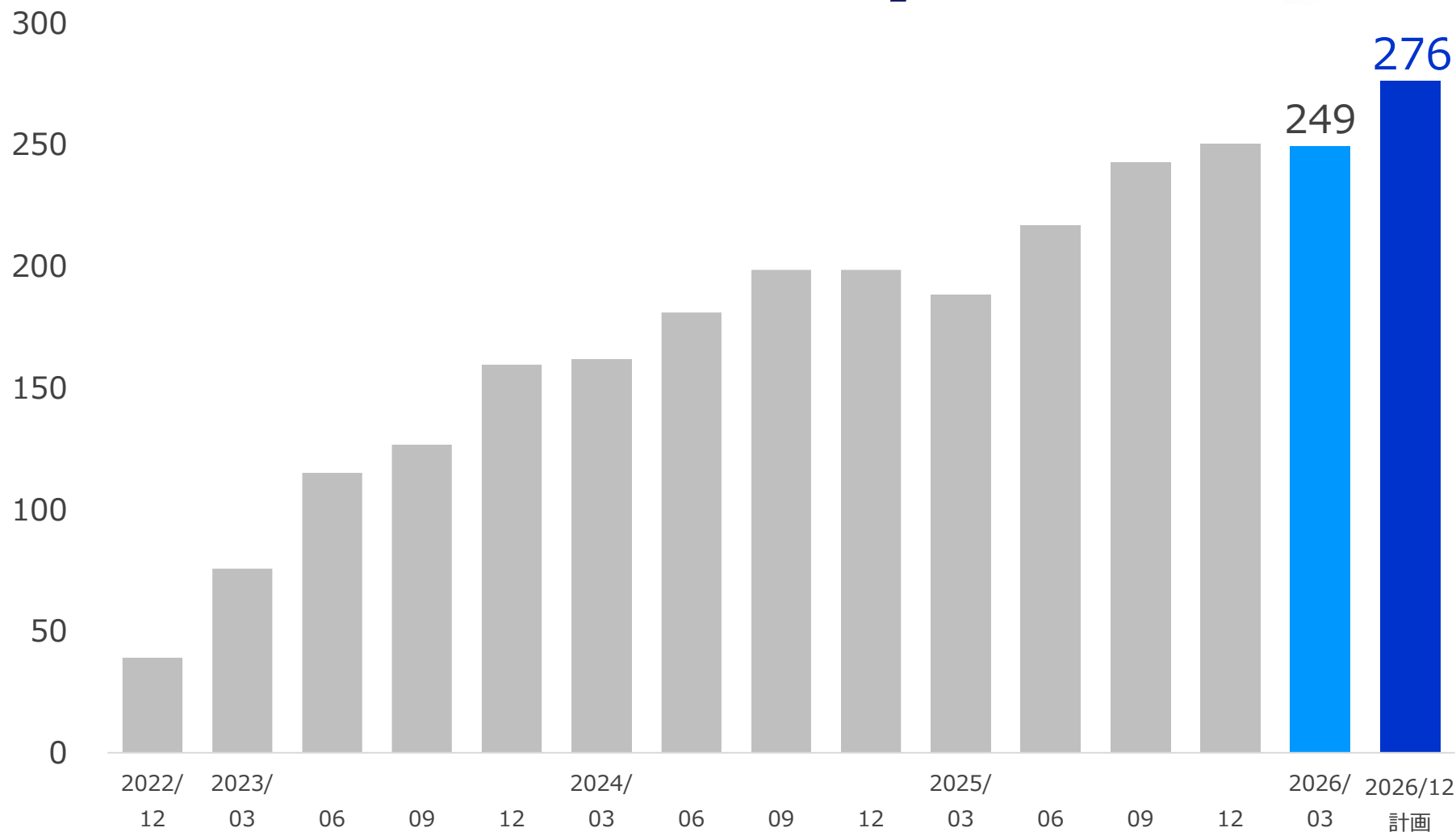
(億円)



Nexus Card



MIRAI



※MIRAIは2023年10月より連結子会社化

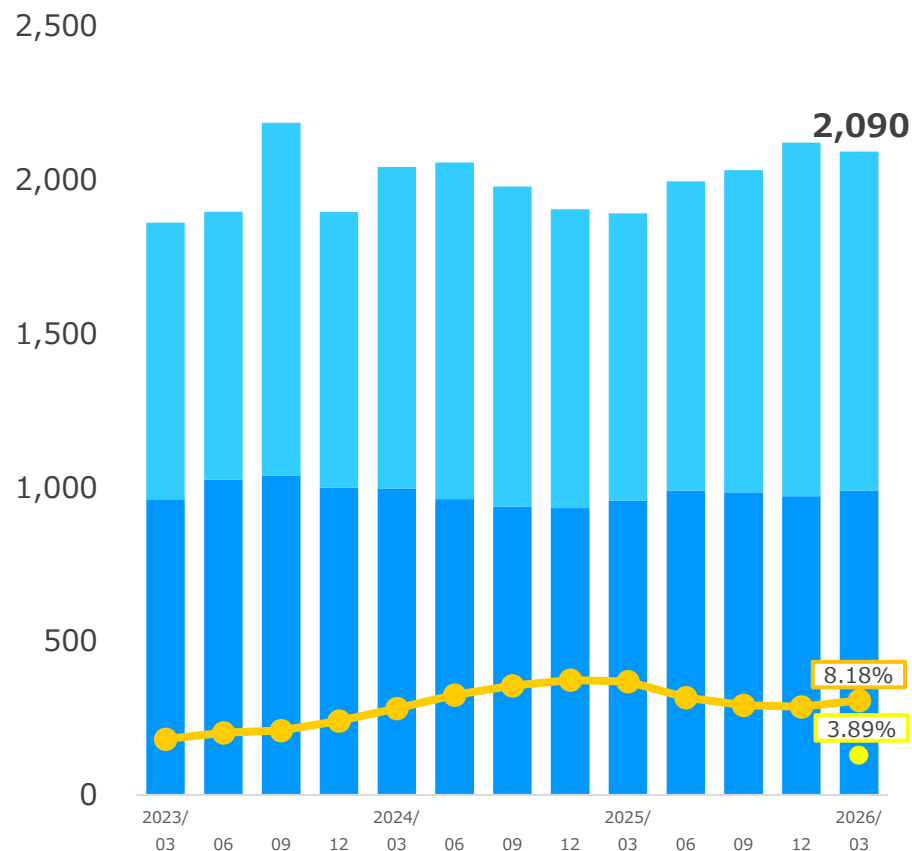
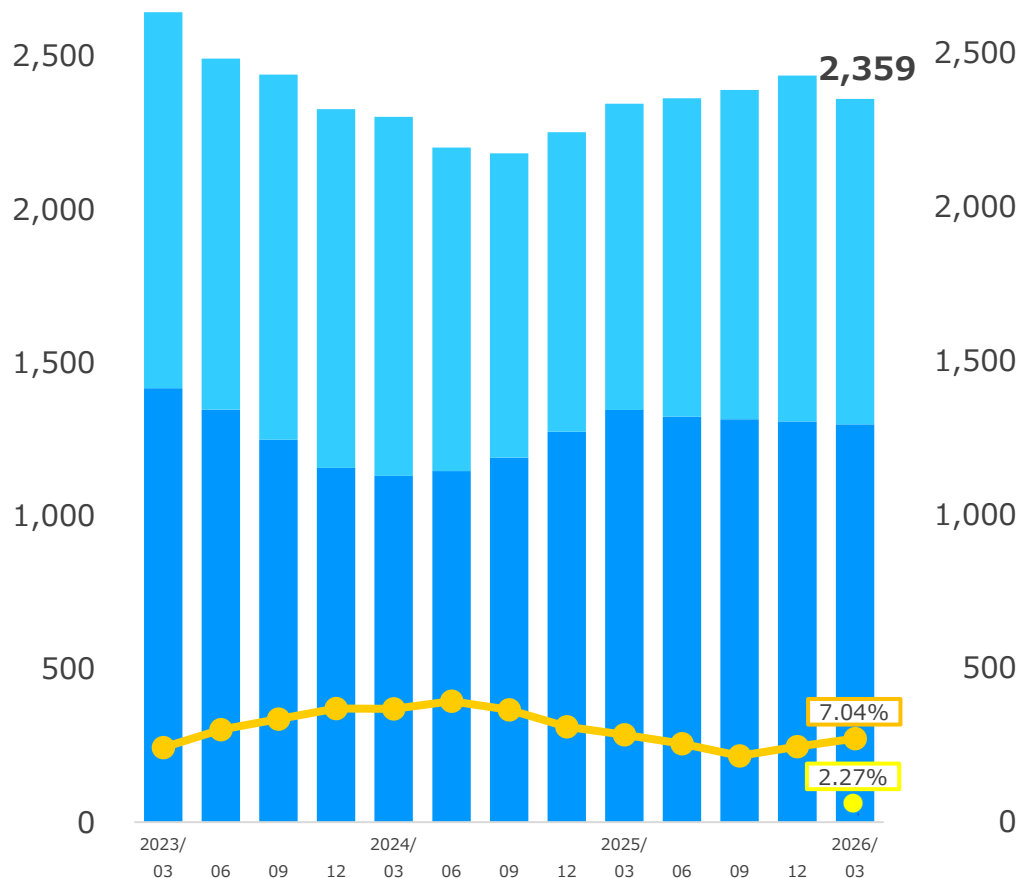
韓国貯蓄銀行2行の貸出残高と不良債権比率の推移

■ 個人向け ■ 法人向け —●— 不良債権比率（グロス/90日以上延滞債権） ● 不良債権比率（ネット）

(億円)
3,000


JT 親愛貯蓄銀行 (億円)
3,000

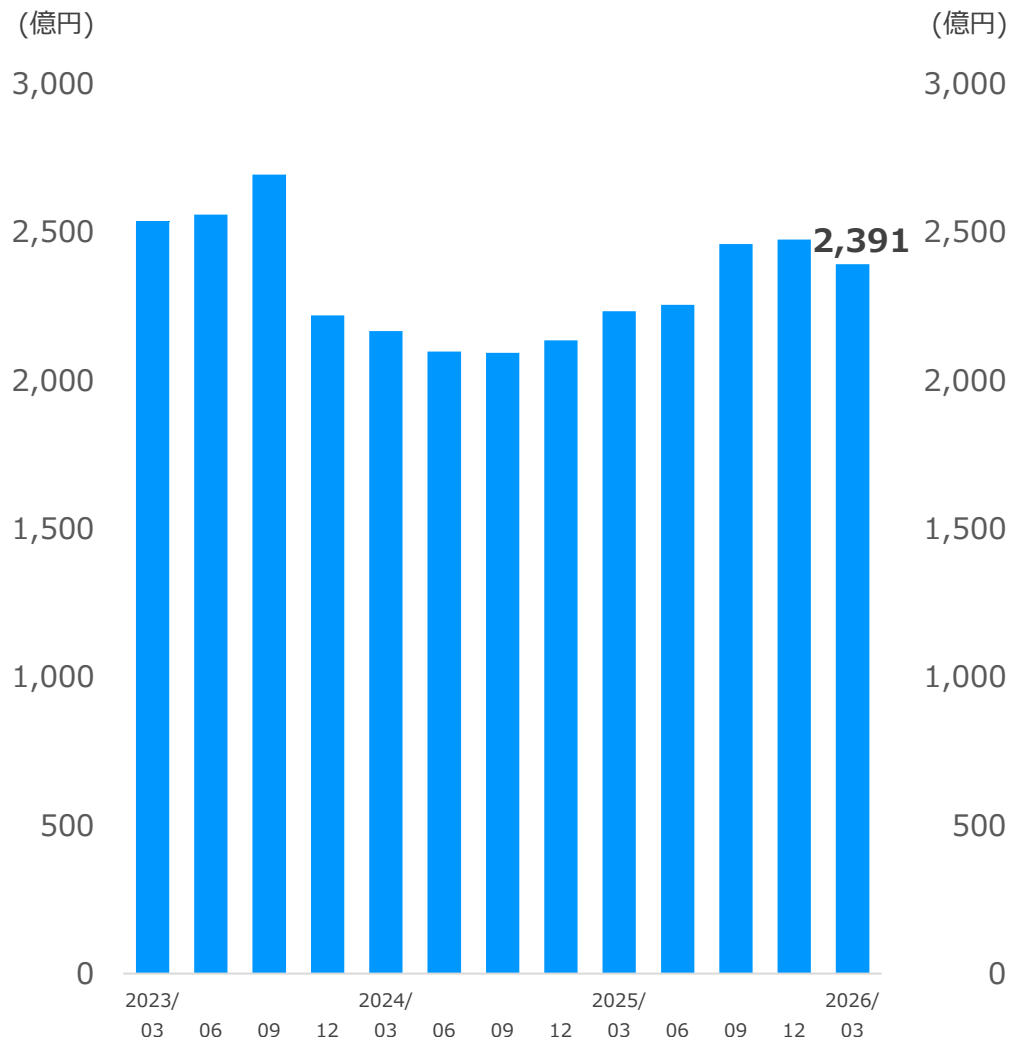
JT 貯蓄銀行



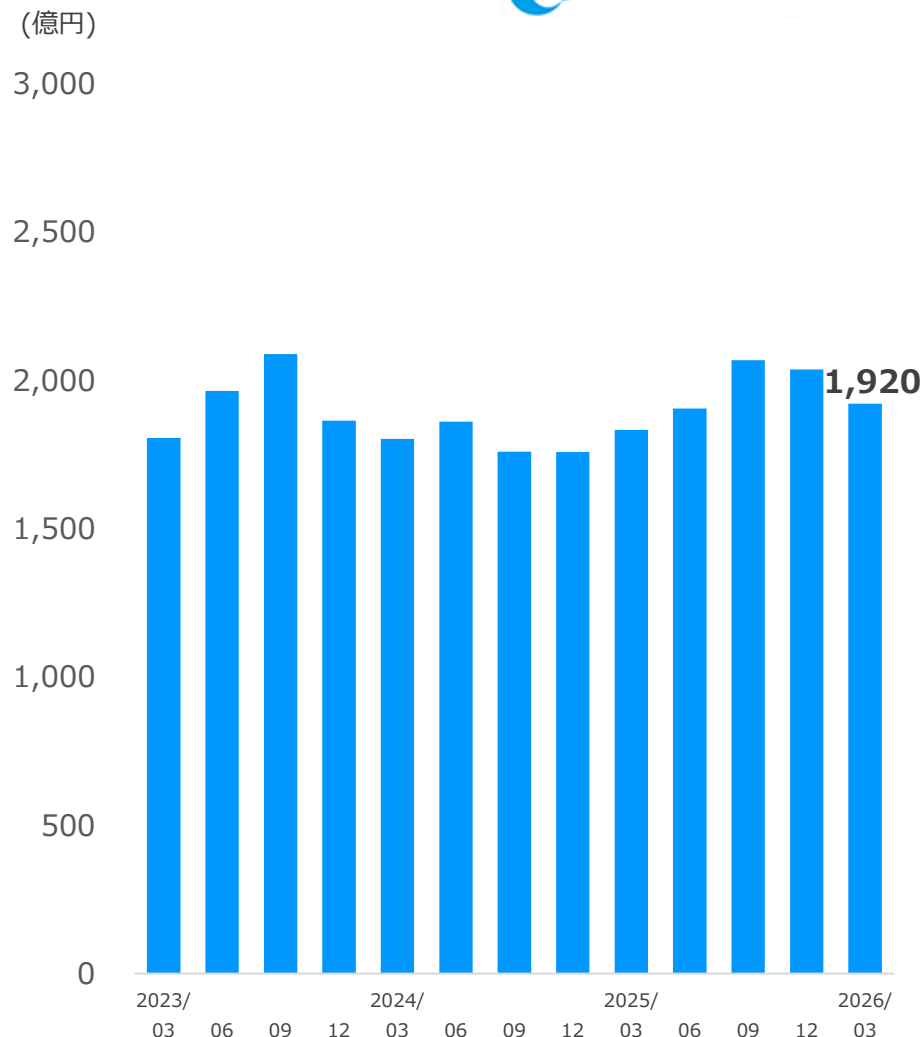
(※) 数値は現地通貨に2026年3月末レート（1韓国ウォン=0.1048円）を乗じて表示

韓国貯蓄銀行2行の預金残高の推移

 JT 親愛貯蓄銀行



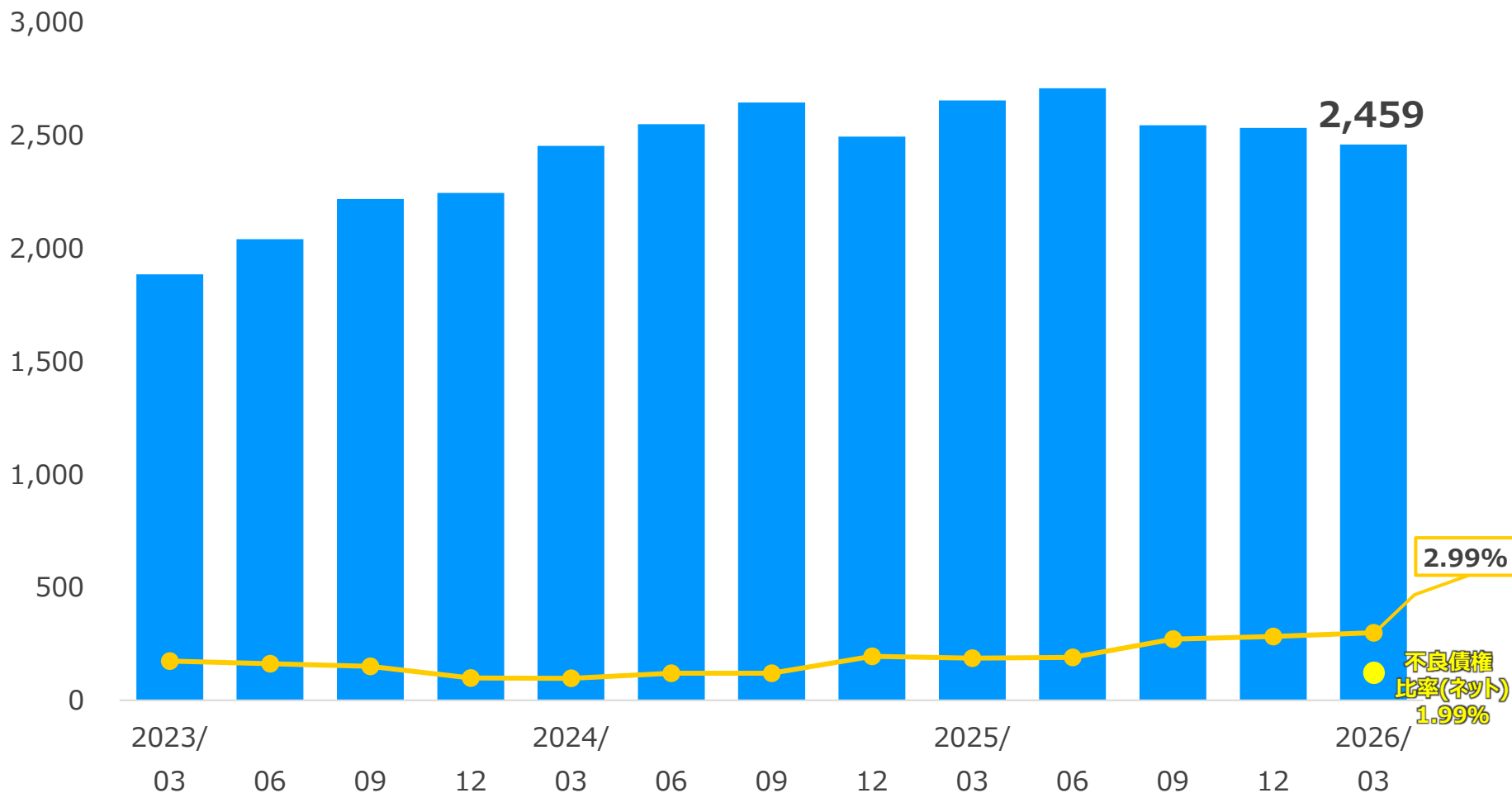
 JT 貯蓄銀行



(※) 数値は現地通貨に2026年3月末レート（1韓国ウォン=0.1048円）を乗じて表示

Jトラスト銀行インドネシアの貸出残高と不良債権比率の推移

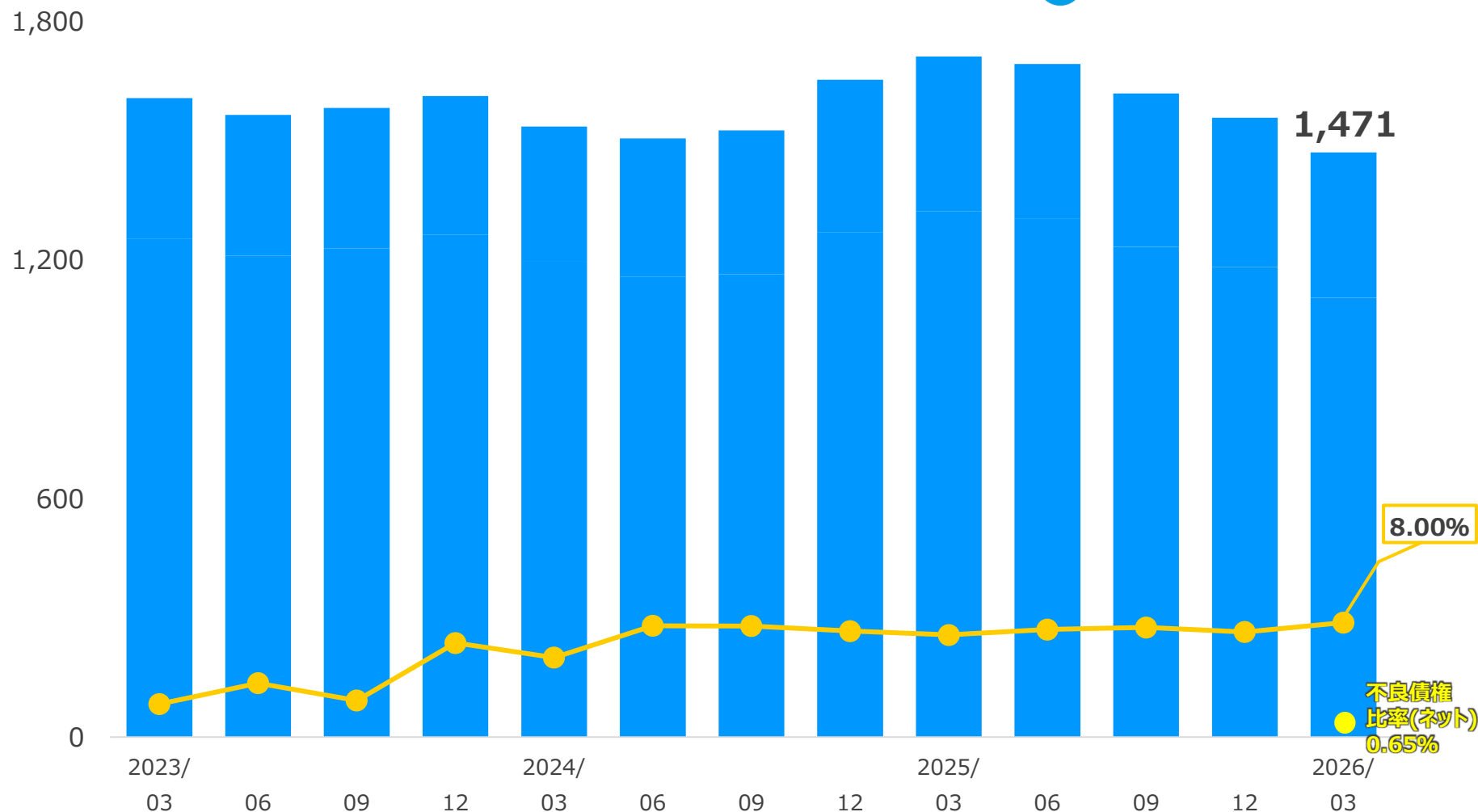
(億円) ■ 貸出残高 ● 不良債権比率(グロス)



(※) 数値は現地通貨に2026年3月末レート（1インドネシアルピア=0.0094円）を乗じて表示

Jトラストロイヤル銀行(カンボジア)の貸出残高と不良債権比率の推移

(億円) ■ 貸出残高 ● 不良債権比率(グロス/90日以上延滞債権)

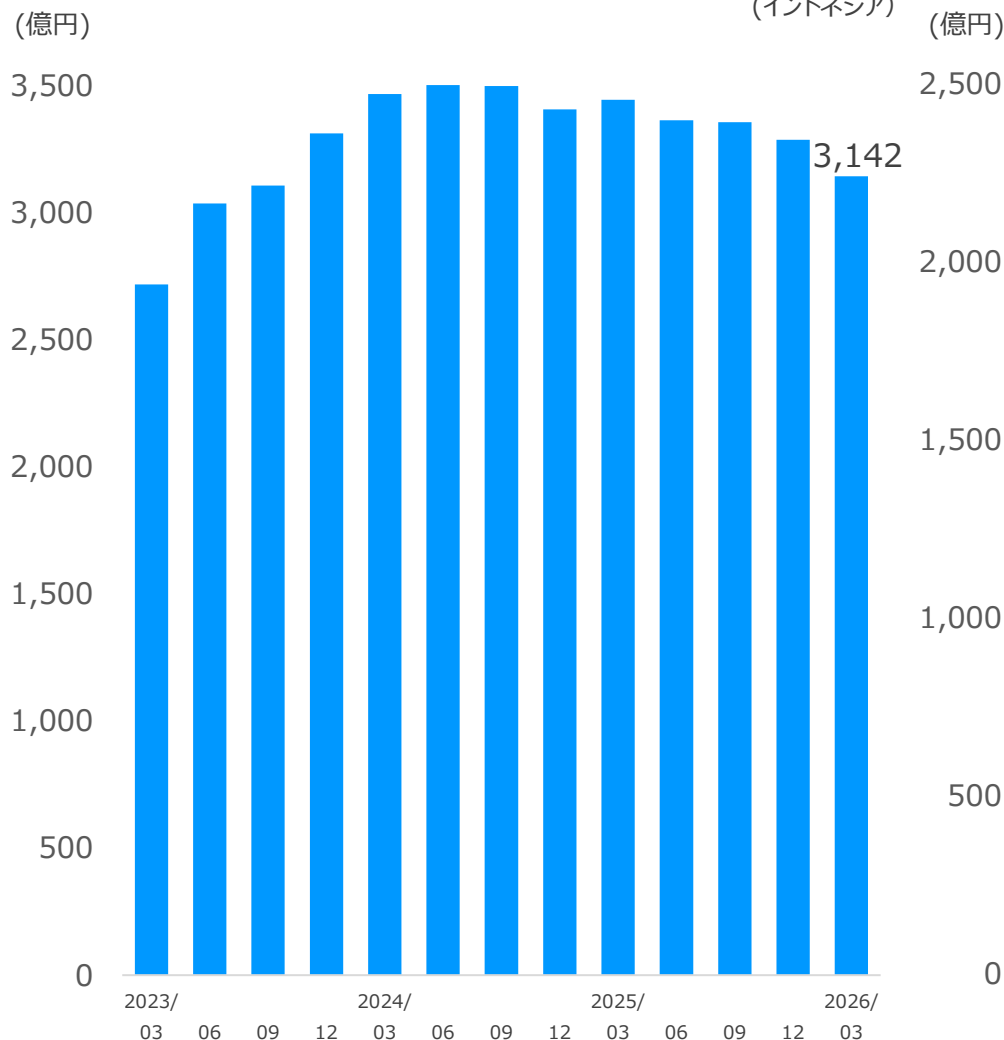


(※) 不良債権比率は、カンボジア中央銀行(NBC)への報告数値

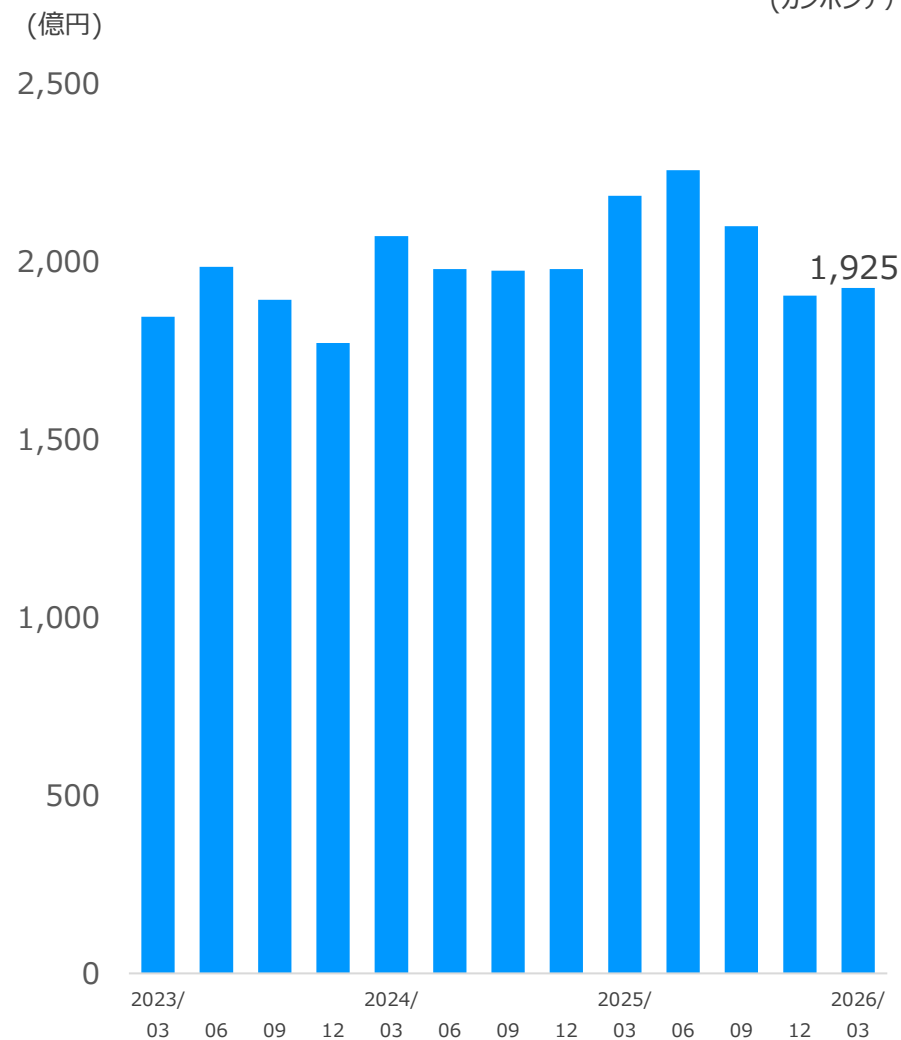
(※) 数値は現地主要流通通貨(USドル)に2026年3月末レート(1USドル=159.88円)を乗じて表示

東南アジア銀行2行の預金残高

J TRUST BANK
Jトラスト銀行
(インドネシア)



J Trust Royal Bank
(カンボジア)



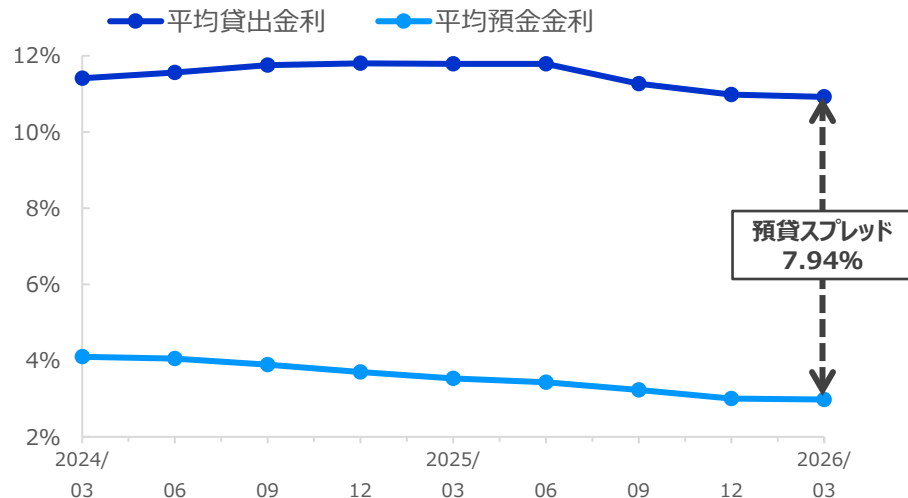
(※) 数値は現地通貨に2026年3月末レート（1インドネシアピア=0.0094円）を乗じて表示

(※) 数値は現地主要流通通貨（USドル）に2026年3月末レート（1USドル=159.88円）を乗じて表示

韓国貯蓄銀行2行の預貸スプレッド

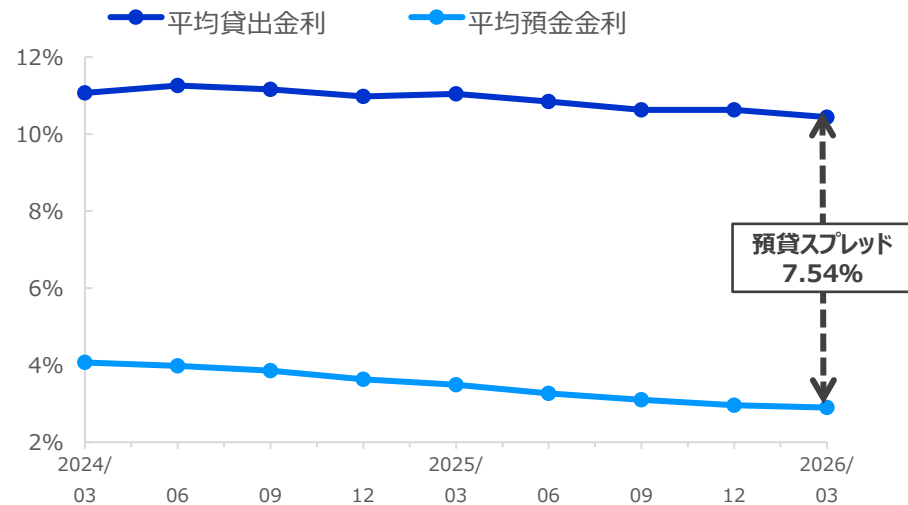
JT 親愛貯蓄銀行

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2024年3月	4.10%	11.41%	7.31%
2024年6月	4.05%	11.56%	7.51%
2024年9月	3.89%	11.75%	7.86%
2024年12月	3.70%	11.80%	8.10%
2025年3月	3.53%	11.79%	8.26%
2025年6月	3.43%	11.79%	8.36%
2025年9月	3.23%	11.27%	8.04%
2025年12月	3.00%	10.98%	7.98%
2026年3月	2.98%	10.92%	7.94%



JT 貯蓄銀行

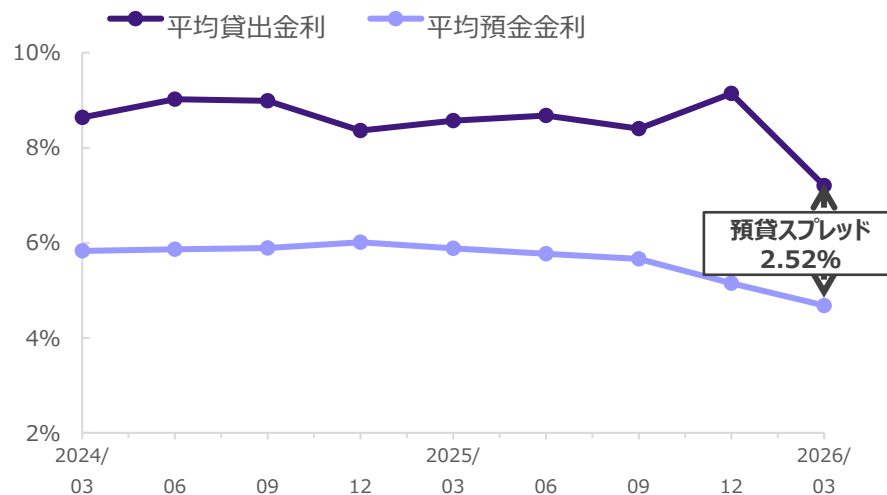
	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2024年3月	4.07%	11.07%	7.00%
2024年6月	3.98%	11.26%	7.28%
2024年9月	3.86%	11.16%	7.30%
2024年12月	3.63%	10.98%	7.35%
2025年3月	3.49%	11.04%	7.55%
2025年6月	3.27%	10.84%	7.57%
2025年9月	3.10%	10.63%	7.53%
2025年12月	2.96%	10.53%	7.57%
2026年3月	2.90%	10.44%	7.54%



東南アジア銀行2行の預貸スプレッド

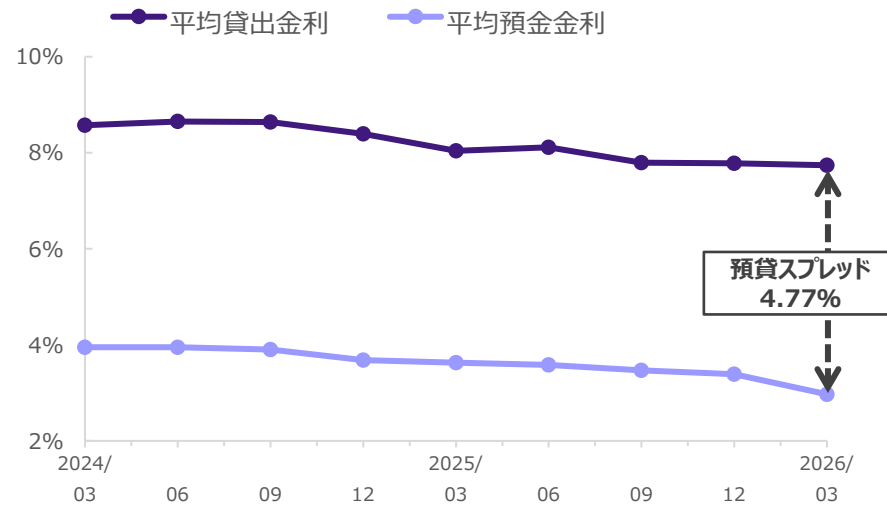
J TRUST BANK (インドネシア)

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2024年3月	5.83%	8.64%	2.81%
2024年6月	5.86%	9.02%	3.16%
2024年9月	5.89%	8.99%	3.10%
2024年12月	6.01%	8.36%	2.35%
2025年3月	5.88%	8.57%	2.69%
2025年6月	5.77%	8.68%	2.91%
2025年9月	5.66%	8.40%	2.74%
2025年12月	5.15%	9.14%	3.99%
2026年3月	4.68%	7.20%	2.52%



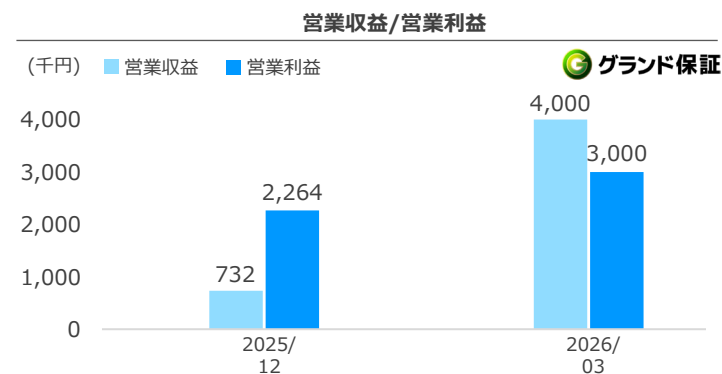
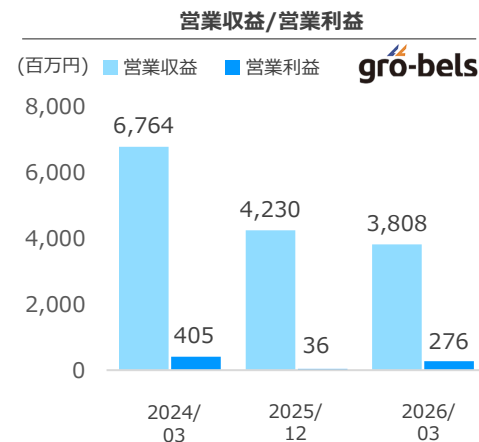
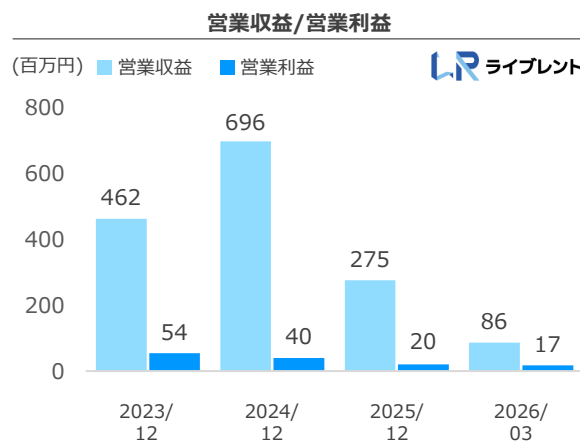
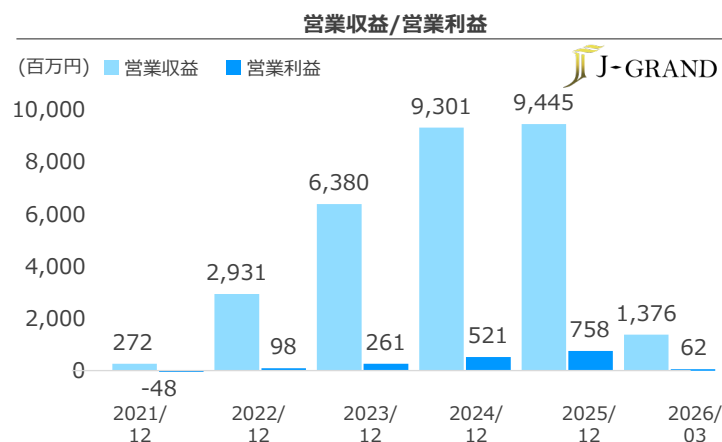
J Trust Royal Bank (カンボジア)

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2024年3月	3.95%	8.57%	4.62%
2024年6月	3.95%	8.65%	4.70%
2024年9月	3.90%	8.64%	4.74%
2024年12月	3.68%	8.39%	4.71%
2025年3月	3.63%	8.04%	4.41%
2025年6月	3.58%	8.11%	4.53%
2025年9月	3.47%	7.79%	4.32%
2025年12月	3.39%	7.78%	4.39%
2026年3月	2.97%	7.74%	4.77%



不動産事業4社の取り組み

- 2026年度 4社合計 営業収益5,275百万円※¹ 営業利益359百万円※²
- 子会社ライブレントとグランド保証は、家賃保証を含めた資産管理業を更に拡大



※1,※2 不動産事業4社（Jグランド、グローベルス、ライブレント、グランド保証）の営業収益および営業利益を単純合計した数値です。なお、グループ連結上の調整額等は反映していません。

